京城日報

廿六日夕刊

發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

○唐紹儀氏遂に辭職す

唐紹儀氏は二十四日遂に辭表を黎總統に出だせり其理由は時局今日の有樣にては就職するも國事に益無しと言に在り（北京特電）

○佛國飛行機の壯擧

佛國飛行機三臺エッセンに爆彈一個を投下し安全に歸還せり行程五百哩に達す（紐育電報）

○希臘新內閣承認條件

雅典來電＝希臘新內閣は聯合國の承認を得んことを欲し協商國反對派の頭目たる內相及び法相二名を更迭せんことを申出でたり（倫敦電報）

○羅軍の戰線著しく鞏固

ブカレスト來電＝羅馬尼軍のドブルヂヤ戰線は著しく鞏固となれり多分今後如何なる敵の攻擊にも抵抗し得可しと信ぜらる（倫敦電報）

○破艦修復と獨帝

アムステルダム來電＝獨逸皇帝は九月十日クルップス其他の獨逸造船所が曩にジュットランド沖海戰に於て破損せる軍艦を迅速に修繕せるに對し感謝狀を贈れり尙ほ皇帝は平和成立後此等の造船所に其の功勞を認む可き或る記念物を贈る可きを約せり（紐育電報）

○施政六年記念

十月一日は施政六周年記念日なるより總督府を初め各官衙公署並に各學校は業を廢して祝意を表し京城神社にては記念祭を執行す可く又各地の郵便局所にては記念スタンプを押捺す可し

○總監茶菓饗應

山縣政務總監は二十九日午後四時より稅關長會議の爲め入京中なる各稅關長等を官邸に招待茶菓の饗應あり總督府側よりは藤川稅務課長水口關稅課長等列席の筈なり

○總監團員接待

山縣政務總監は二十八日午後四時より鹿兒島縣學事視察團一行を教育俱樂部に招待茶菓を饗應の筈なり

○稅關長會議（第二日）

稅關檢査課長會議第二日は二十六日午前九時より總督府第二會議室に開催出席者前日の如く藤川度支部長官代理統裁の下に直ちに豫定の日程に入り午前午後に亙りて事務の打合せを爲し三時散會したり

○定例長官會議

二十六日は定例長官會議日に付き山縣政務總監以下各部長官局長主要所屬の長等は午前十時より總督府第一會議室に參集主要政務に就き協議打合せの上正午散會したり

○官鹽增收著し

廣梁灣鹽田に於ては本月二十日までに其の採鹽總量六千萬斤に達し大正四年度の全收獲量四千六百萬斤に比し千四百萬斤の增收なり斯る急激の增加は從來曾て其の例あらざる所にして是れ畢竟鹽田の整備と作業の進步とに原因するものなりと云ふ尙今後十月下旬までの製鹽期中には少くとも六七百萬斤の收獲あるべく結局前年度より二千萬斤以上の增收ある見込なりと

○露藏券拂込

第二回露國藏券に對する朝鮮應募額の拂入は二十萬五千圓に確定せし事旣報の如きが廿五日應募銀行及び個人は取扱銀行たる鮮銀に對し拂込みをなせりと

○ホテル協會總會

ホテル協會第七回秋期總會を十月七日より朝鮮ホテルに於て開催する由なるが該總會の第六回は京城にて開催する豫定の筈の所共進會開催に其他の爲め京都に開き京城開會の分は一回を延引せし形となり居りしと

○押川長官來壤

押川製鐵所長官は豫定を變更し二十五日午前十時四十分鎭南浦より來壤道長官の案內にて牡丹臺乙密臺等の戰跡を視察しお牧の茶店にて工藤長官の午餐會に臨み午後三時三十分發列車にて安東縣に向へり（平壤）

○國分長官出張

司法部長官國分三亥氏は司法事務視察の爲め深澤監獄課長を隨へ二十七日咸鏡南北兩道に出張す可く歸任期は十月十三日の豫定なり

○長官理事東上

十月五日より鐵道院に於て開會すべき三線連絡運賃問題協議會列席の爲め朝鮮鐵道局より長官、大屋權平理事三木武重の兩氏は屬官一名を隨へ二十七日夜南大門驛發東上する由

○池田長官歸期

池田遞信局長官は神田副事務官を隨へ元山にて二十三日夜山縣總監一行と分れ金剛山觀察の途に就き二十六日歸京の筈なりしが海上風波荒く咸鏡丸發著の船繰に狂ひを生じたる爲め其の歸京は一日遲延し二十七日夕刻となる由

○工藤長官出張

平安南道長官工藤英一氏は二十六日平壤發江原道元山に出張せり

○工藤事務官歸任

土地調査局事務官工藤壯平氏は北鮮に於ける土地調査狀況視察の爲め久しく出張中なりしが二十三日歸京せり

○齋藤廠長入京

營林廠長齋藤音作氏は廿五日夜南大門驛著汽車にて入京廿六日は總督府山林課を訪ひ同廠事務に關する打合を爲せり

□支那の衆議院　中華民國復活して九百に近き南北の議員續々として北京に來り維新の國是を議して新政の建設を議定せんとす、參衆兩院今や憲法、借款、外交の諸問題に依りて議場は日に喧噪を極め蛙聲天地を否塞せんとす寫眞は開會中の衆議院議場の光景也（北京）

○和田課長歸任

南鮮に於ける地方調査委員會列席の爲め出張中なりし土地調査局總務課長和田一郞氏は二十五日夜歸任せり

○鮮銀各支店長

朝鮮銀行にては大連支店長大田三郎哈爾賓支店長阿部讓並に浦鹽松田銀行部支配人中村光吉の三氏を召集し目下對露金融上に關する諸事務の打合せ中なるが三氏共三四日中夫々歸任すべし

○山田松熊氏容態

東上罹病中の山田鮮銀庶務局長は過般退院歸京するやう報せられしが更に聞く所によれば容態猶ほ回復せず依然醫科大學病院に入院中なりと

○鹿島縣視察團

鹿兒島縣教育會主催の滿鮮學事視察團一行二十七名は滿洲よりの歸途平壤を經て二十八日夜南大門驛著入京の筈なり旅館は未だ確定せざるも多分京城ホテルとなる可く一行は二泊の上二十九日午前退京すべし

○京城府協議會

京城府協議員會は二十六日午前十時より府廳會議室に於て開會古城管堂氏外十名の出席あり金谷府尹議長席に著き

一、屠獸場買收の件
二、大正五年度豫算の追加及更正に關する件
三、傳染病豫防事務に關する給與條例制定の件
四、名譽職府吏員採用規程に關する件
五、京城神社の用に供する府有財產寄附の件
六、町洞內の公共事務を補助するため町總代を置くの件

の六件を諮問したるに一二三の諮問案は原睦一、石原磯次郞、金漢奎、韓相龍の各議員に委員附託となり其他全部理事者に一任して可決し一時半散會せり尙ほ町總代に關する件に就ては追て規程に修正を加へたる上發表すべしと

○中學擴張問題

京城學校組合會に對し議員山口太兵衞氏は京城中學校の校舍擴張問題を建議したるが其理由に京城中學校に每年入學試驗を志願する者は約五百人にして內八割迄は京城の小學校を卒業したるものなり然るに其內入學試驗に合格して入學を許可されたるものは僅々百五十名以內に過ぎず其他の不合格者は何れも高等小學に一年を費し翌年再び試驗を受くるもの又既に高等小學在學生にして不合格となりたるものにありては京城以外の中學校か或は其他の各種學校に入學するものあり中には中學入學試驗の不合格により遂に方面を轉じて修學を中止する者さへある狀態なり如斯は內地人在住者の子弟の敎育をして不安ならしむる所以のものなれば希望としては一學校の新設を必要とするものなれども先づ應急の策として來年度新學期迄に中學校の收容力を增加せしめんとするものにて組合會は素より府尹に於ても贊成の意を表し居れば早晚何等かの善後策を講ぜらるゝに至るべしと

○秋期運動會延期

京城府內の各官公立學校は例年秋季に於て運動會を催すことゝなり居り本年も既に公立學校側は其準備に著手したるものもありたるが折柄虎疫蔓延の兆あるため目下の所無期延期となれるも或は此儘本年は中止するやも知れずと

○龍山有志大會延期

龍山各町總代及び有志大會は二十五日午後六時より開會することゝなり居りたるも會場たる元町本願寺に差支ありたるため二十七日午後六時より開會のことに延期せり

○萬國大會準備運動

大日本日曜學校協會の敎育部長にして多年歐米に於ける兒童の宗敎敎育に造詣深き三戸吉太郞氏は來秋東京に於て開會す可き萬國日曜學校の準備運動のため朝鮮各地の日曜學校を訪問することゝなり來十月八日釜山に上陸し夫より平壤に直行同地に於て三日間の講演をなしたる上十五、六の兩日仁川に至り十七日午前十一時四十五分南大門著にて仁川より入京、十八、九の兩日京城に於て日曜學校敎師會、婦人會其他生徒の集會等に出席することゝなり居れり尙近來日曜學校が基督敎會の宗敎敎育事業として長足の進展を爲すに至り學校の在學生にして同時に又日曜學校生徒たるもの既に京城の內地人敎會のみにても五百餘名を算し居るの狀態なれば一般敎育家は此際同氏との間に懇談會的の會合を催さば有益ならんとの說をなすものありと云へば多分敎育家懇談會等の催しもあるべしと

○鮮銀券發行週報

九月十七日より二十三日に至る一週間の朝鮮銀行券發行平均高は左の如しと

總發行平均高	三一、四四五、七一九
正貨準備發行高	一〇、六七〇、五三〇
保證準備發行高	二〇、七七五、一八九

清津

▲架橋材料到著　淸會線架橋材料たる鐵桁約六百五十七は大連より博進丸に積載し十九日淸津に入港せるが揚陸の上奧地に運搬架橋に著手すべしと ▲地代引下運動　淸津港は開港當時より地代の高價なるを以て知られ從つて地料の如きも他に其例を見ざるの高率なる爲めに土地の發展を阻害する事鮮なからざりしが今回港民の輿論として之が値下げ問題を呼號するに至り借地人七十餘名は地料低減期成會なる者を組織し現在の地料を二分の一に低減せしむべく運動を開始せるが此際飽迄目的を貫徹せん意氣込みなり ▲富寧鑛山採掘著手　咸北富寧郡靑岩面細洞鐵鑛は權利者たる北鮮鑛業事務所に於て昨年來同鑛石數千噸を內地八幡製鐵所に納入して製鐵試驗に供する所あり其後同製鐵所より數回技師を派遣して實地調査する所ありたるが今回愈々同所製鐵原料として使用するに充分なるものと認め本月十六日年額五萬噸宛價格約三十二三萬圓の購入契約成立したれば同鑛業事務所にては直に採掘準備に著手せり ▲豆滿沿岸稅關　昨年中豆滿江沿岸十三箇所稅關出張所における渡江杜絕日數は三百八十五日にして之を原因別にすれば結氷時に於て七十八日解氷時に於て八十三日浮氷時に於て八十三日其他四十一日なり尙大正三年の交通杜絕日數は三百三十五日大正二年は百七十三日なり ▲豆滿江鮭漁　豆滿江の鮭漁は前月來著手せられあるが本年は二三年前の打續きし如き洪水なきを以て豐漁なる可しとの豫想に反し不振なるより出漁者をして少なからず失望せしめたるが不漁原因は昨秋洪水の爲め同河筋に於ける産卵數なかりしに影響するもの丶如し ▲慶興山林區分調査　農商工部山林課にては今回咸北道慶興郡の山野區分調査を爲す事となり本月中旬技手以下の調査員出張し來りしが元來慶興郡は本道各郡中に於て李王家發祥其他の舊跡を留め居る關係上殊に今回區分調査を爲す事となりたるもの丶由にて調査員は舊跡として區分存置すべき八九個所の豫定地を定め居る爲土地調査の上其區域の選定を確定する筈なり

仁川

▲防疫事務應援　京畿道廳より大內書記以下六名防疫事務應援として二十五日來仁したり ▲藤沼試補視察　總監部藤沼試補は二十六日午前十時來仁仁川府管內及び富平素砂各地の防疫及び一般狀況視察の上二十七日歸任の豫定 ▲寺町遮斷解除　寺町は遮斷區域となりしが二十五日解除となり此れと同時に郵便物は本局より直接配達する事となれり ▲水道栓第三回解放　仁川水道事務所にては栗木里花町寺町舍谷里其他各町に對し廿六日午後より第三回水道栓の解放をなしたり

大田

▲踏査歸田　錦山道路踏査の爲め錦山に向ひし澁谷本道第一部長一行は二十二日同地著官民有志の出迎あり同夜歡迎會を開き錦山側三十餘名の出席あり二十三日種々打合せをなし澁谷部長を除く外歸田の筈なりしも何分降雨甚しき爲滯在する事となりしが廿四日內藤組合管理者辻協會副會長は歸田せり殘餘の人は廿六七日歸田 ▲學生出發　廿四日全州に向ひし中農學生は廿五日十時四十五分來田煙草試作場其他自由見學をなし午後五時發列車にて京城に向へり因に大邱に滯在せる學生は其後熱發なく經過良好なりと ▲魚菜成蹟　大田魚菜市場八月中成績は降雨度々なりしと虎疫の爲め各港の捕獲減少せる等の理由にて前月に比し五百卅一貫を減じ二千四百二十八貫此賣上二百八十九圓七十二錢を減じ二千二百七圓九錢なりしと ▲松茸出初　元山方面より廻荷あり廿四日は四貫餘二十五日約二貫目あり初め貫十一圓五六十錢を呼び居たるも近時出來價は三圓內外なり

大邱

▲道路修築美擧　慶北迎日郡竹南面下玉洞より盈德郡光明洞に通ずる等外道路は急坂の岩石にして例年冬期には交通杜絕の狀態なるを遺憾とし永川郡邑內の有志文明琦氏は多額の金を投じ是が鑿岩をなせし爲め交通至便となり邑民の喜悅一方ならずと ▲慶北地主講習會　慶北道廳にては一昨年以來各郡の大地主を召集し地主講習會を開催しつゝありしに成績頗る良好なりしを以て本年も本月二十五日より三日間慶北種苗場に於て地主講習會を開催す ▲鈴木慶北長官出府　鈴木慶北道長官には公用を帶び四日間の豫定にて二十五日出府せり ▲浦項普通校認可　豫て設立認可申請中の浦項公立普通學校は愈々認可の指令に接したれば不日具體的準備に著手すべしと

群山

▲商議書記長　新任群山商業會議所書記長石井彥三氏は豫定に二日を遲れ二十二日著任したるが翌日官民各方面を歷訪し任著の挨拶をなしたり ▲沃溝米作　沃溝郡廳管內米作現況を聞くに六月中の霖雨の爲め一部の損害甚しきものありしも一面山間部の近年稀れに見る豐作を豫想され八月末調査に於ては八萬五千二百三十石の收穫見込にて前年實收穫八萬二千百二十二石に比し三分八厘增收の見込なりしが本月三日以後の霖雨出水の爲め水稻は四日乃至五日間浸水被害を蒙りし箇所ありて八月末調査收穫豫想に三千六百八十八石の減收見込を來たし現在本年度收穫豫想高は八萬一千五百四十二石となり大正四年度實收穫に比し五百八十石減收の見込なりと

人事消息

▲大味久五郞氏（前沖繩縣知事）二十六日退京
▲福岡縣學校敎員視察團 二十六日開城を視察同日歸京東京方面へ
▲赤井定義氏（海州地方法院檢事正）二十六日朝入京天眞樓へ
▲田中玄黃氏（平壤高等普通學校長）學事視察の爲め南鮮地方に出張中なりし同氏は二十五日入京二十六日夜歸任の途に就けり
▲深澤新一郞氏（監獄課長）二十七日より咸南北兩道に出張

公告

京城地方法院

左ノ不動產ヲ左ノ日時ニ競賣ニ付ス
入札保證金ハ申出額ノ十分ノ一トス

●京城府崇三洞五拾壹番地上ニ建設シアル
一、煉瓦造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪五拾五坪八合壹勺
附屬建物煉瓦造瓦葺平家倉壹棟
此建坪六坪九合六勺
最低競賣價額金貳百五拾七圓也
右 競賣申立人 李慶世
不動產所有者 鄭鎭弘

●京城府雲泥洞貳拾四番地
一、垈七拾坪
最低競賣價額金參百四拾圓也
右 競賣申立人 柳漢相
不動產所有者 柳[illegible]

●京城府西大門町貳丁目八拾七番地ノ一
一、垈參拾壹坪
最低競賣價額金貳百參拾八圓也
右 競賣申立人 佐藤磯治郎
不動產所有者 黃鍾煥

●京城府樂園洞百七拾壹番地
一、垈七拾貳坪
最低競賣價額金五百五拾圓八拾錢也

●京城府西大門町貳丁目百貳拾番地
一、垈六拾坪
右地上ニ建設
一、木造草葺平家建本家壹棟
此建坪六坪四合五才
附屬建物木造瓦葺平家建倉庫壹棟
最低競賣價額金百參拾九圓八拾錢也
右 競賣申立人 犬島新作
不動產所有者 李堉

●京城府本町參丁目拾壹番地
一、垈貳拾坪
最低競賣價額金壹百五拾圓也
京城府本町參丁目拾貳番地ノ五
一、垈五拾四坪
最低競賣價額金四百五圓也
右地上ニ建設
一、木造瓦葺二階建本家壹棟
此建坪八坪七合五才
外二階坪七坪七合五才
最低競賣價額金參百七拾圓也
右 競賣申立人 京城建物株式會社
不動產所有者 朴龍圭

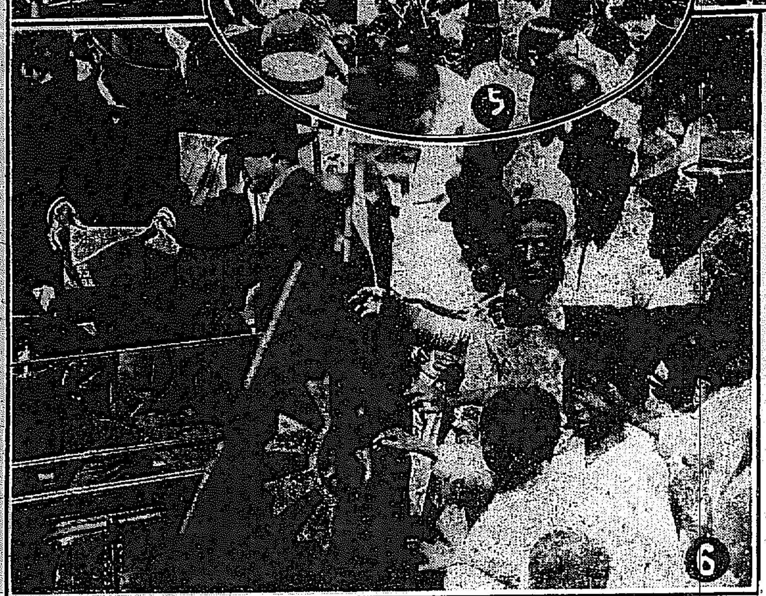
●京城府黃金町貳丁目貳拾壹番地
一、垈七拾七坪
最低競賣價額金參千參百拾壹圓也
右地上ニ建設
一、木造瓦葺平家建本家壹棟
此建坪參拾五坪七合七勺
附屬建物木造瓦葺二階建倉庫壹棟
此建坪八坪參合五才
外二階坪八坪參合壹勺五才
附屬建物木造瓦葺二階建倉庫壹棟
此建坪貳拾坪參合七勺五才
外二階坪貳拾坪參合七勺五才
最低競賣價額金四百九拾八圓也
右 競賣申立人 洪忠昌
不動產所有者 崔善鉉

●始興郡君子面元時里四百五拾四番
一、田參百七拾坪
最低競賣價額金拾八圓五拾錢也
同所四百六拾九番地
一、田八百八拾六坪
最低競賣價額金四拾四圓參拾錢也
同所四百八拾番地
一、田九拾坪
最低競賣價額金四圓五拾錢也
同所四百八拾壹番地
一、田四百四拾坪
最低競賣價額金貳拾圓七拾錢也
右 競賣申立人 洪承瑾
不動產所有者 洪君先

●始興郡北面鷺梁津里貳百參拾四番地
一、垈九百五拾壹坪
最低競賣價額金八拾五圓五拾錢也
右 競賣申立人 太田[illegible]
不動產所有者 [illegible]七和

以上競賣期日ハ大正九年十月[illegible]日午前拾時トス

▲富の道しるべ 山縣五十雄 村上唯吉共著 京城太平通 振替三〇〇番



大旆秋風に飜って、車上勵聲

防疫の急務を疾呼す

本社主催防疫巡回大講演と京龍市民の歡迎

本社主催京龍市中防疫路上講演會は豫報の如く二十六日を以て頗る盛大に開催された、午前八時頃から講演自動車隊は本社左側玄關前に集合する、講演自動車隊の出發を見ようと參集する群衆は社旗を以て車體を飾り「虎疫路上講演會」の幟旗を翻がへし虎疫豫防心得書を滿載した四臺の自動車を圍んで犇めき合ふ間に定刻となれば樂隊員の乘込んだ自動車を先頭として二隊に分れ一は講演醫師池上要吉氏及び警官本社員等數名を乘せて本町筋方面に向ふべく黄金町通りに疾走し一は講演醫師朴宗桓氏並びに警官本社員鍾路方面に向ふべく橋南洞に向つて疾驅した、惡疫驅逐の第一聲を擧げつゝ豫防心得書を散布しゆく講演自動車隊の前には如何に猛惡なる虎軍と雖も殲滅せずには措かない樣な勇ましさが見ゑたのであつた、

▼聽衆面上の決意 第一班 午前

本町署管内に向はんとする第一班は先づ黄金町通りを進んで永樂町電車停留場附近に於いて第一回の講話を試みる、先發の樂隊を取卷て待受つゝあつた聽衆は本社員の紹介で

▼池上醫師が 自動車上に立ち上ると盛んに喝采を浴びせる、然かも同氏が莊重な語氣で『此處に態々諸君の御足を停めました事は洵に恐入る次第で御座りますが――』と說き出すとさしもの群衆は鳴を靜めて一語も聽き洩らさじと耳を傾ける講演の要旨は虎列拉が人世社會の敵として最も恐るべきものなる事然かも恐るべくして毫も萎縮すべからざる事傳染病の蔓延するは文明の都市として最も恥辱である事、生物を食する事が斯病を誘導する最大原因なる實證

▼豫防注射の 効果の絕大なる事、口、手その他の身體を淸潔にして黴菌の附著を防ぐ事、虎疫感染の場合は直ちに醫師の來診を乞ふべし、即ち發病初期に於いて手當を施すなれば一命を取止め得るに至る事蠅、鼠等の驅除に留意すべき所以等を縷々數千言滔々として論じ來り語り去る時聽衆の面には孰れも或る決心の浮ぶのを見ないものは無かつた豫防心得書は自動車上より數名の社員が撒布するに隨がつて奪ひ合ふ樣に

▼群衆の手に 渡つてゆく、此處から黄金遊園前に出で更に本町四丁目電車終點、新町遊廓、本町三丁目、明治町四つ角と回を追うて講演を重ぬるに及んで池上醫師の快辯は益々熱し來り細より微に入つて防疫心得を說くところ一として聽衆の肯定を强ゐぬものは無く自動車の進むところ一軒每に投げ込んでゆく心得書の市民に與へたる防疫觀念は甚だ少なくなかつた第一班の午前は

▲明治町角を 以て終り本社に引揚げたのは正午過ぎであつた、

▼感謝聲裡の熱辯 第二班 午前

我が防疫自動車巡回講演第二班の一行は午前八時三十分社前の大廣場を發し樂隊を乘せたる自動車を先頭に立て太平町通りより光化門前に出で朝霧深き鍾路通りを驅走して義州通橋南道石橋派出所前に於て第一回豫防講演を開く大小の

■社章旗に裝飾 されたる樂隊及び講演自動車は忽ち大波の如き群衆に圍繞せられたり朴弘仁堂醫院長は方每申記者の紹介にて車上に立ち現れ虎列拉豫防に關し懇々說話す此講演場にては折好く朝鮮煙草會社獨立門工場の職工百餘名も亦聽講し頗る盛んなりきそれより竹添町二丁目派出所前に於て第二回の講演を開く亦盛なりき折りから朝霧深く立籠めたる霧は漸く晴れ此れて和煦たる日光は此の前途を祝福するもの如し去つて京城中學校裏門興化門前廣場に於て第三回の講話を爲す豫防心得書は各講演の前後に配布したるも殊に講演後には如何にも豫防の必要を感じたるものらしく進んで心得書を求に來る

■婦人老人等頗る多し此處を發し社稷洞に赴く途中宗橋巡査派出所前に於て期せずして群集蝟集し來れるを以て講演場の豫定地には非ざるも第四回の講演を開きたり樂隊自動車は常に講演自動車の前に進み次の講演場に於て奏樂して聽集を集め講演自動車到著を待ち居るを以て講演班は著車と同時に講演を開始し得るの便宜あるを以て講演大いに進捗し第五回講演は社稷洞李秉武子爵邸前に於て開く聽衆數百名頗る盛なり第六回柴橋派出所前第七回講演は光化門通明月館前萬歲閣横に於て開く此處は京城名うての人寄りの場所なれば數百の群衆講演自動車の周圍に集り來り

■一大講演會と はなりぬ第九回講演は淑明女子普通學校前に於て開催第十回は鍾路四ツ角に於て開く京城目拔きの場所だけに集り來る聽衆頗る多く此の講演場は他の講演場と異り聽衆の九分通りまで大人にて子供の聽衆甚だ少く從つて極めて靜肅に聽講せり朴醫院長が熱心なる豫防講話を聽き聽衆中の老若は數多度首肯し講演終るや群衆中の老人連は何れも手を合せて感謝し講演自動車の去るや聽衆は『京城日報社、每日申報社』の萬歲を唱ねて送りたり去つてパゴダ公園前に於て第十一回の講演を開く茲も亦聽衆雲霞の如く集合傾聽せり折りから

■公園内に於て は鍾路警察署にて朝鮮醫生三百人を集合し虎疫患者取扱ひに關する講話中にて公園の内外相應じて虎疫防禦の熱辯を振ふ處、如何に猛烈に虎軍押寄するとも此の市街には一步も許さじとこそ見ゑたり第十二回講演を李㙜公殿下邸前に開く聽衆亦頗る多し此れにて午前の講演を終り群衆の感謝聲裡に送られて午後零時十分希望の大半を遂げて歸社したり。一行は本社に於て午餐を認め更に午後市内を巡回せんとす

寫眞說明

(一)本社出發光景
(二)(三)永樂町四ツ角の講演
(四)日本人町の講演
(五)鍾路通の聽衆
(六)印刷物配布

◆青木課長蜂の痛事

昭和園の昨今は非常の茸生盛りと聞いた青木彌次課長、早速檄を同類間に飛ばして忽ち十數名の一團を組織し、降りみ降らずみの二十三日午前六時といふに一同某地點に勢ひ揃へ威風堂々と繰り出したまでは宜かつたが無事昭和園に著いて愈々茸狩となると一向松茸も無ければ初茸も見當らず獲物は豫期した百分一も無い、一同コンナ筈では無かつたがと今更の愚痴も遂に涙雨となつて大粒の奴がポツリ〳〵と來たので期せずして一同番小屋に逃げ込み何は兎もあれ午餐と云ふ事になつた一座の面々何れも現金主義の[illegible]連中は一人も無く御大の青木課長先づ瓢の中からビールを取り出して其の傷飮みの範を示すと、一同我れ劣らじと此れに倣ふて喰ふ程に飮む程に何れも元氣大に[illegible]中に[illegible]青木課長例の如くハイカラ踊りに[illegible]ある最中、先き程から[illegible]サ〳〵忘りなかつた頭上の松が枝に陣取つた熊蜂の一隊、スワこそ一大事と忽ち課長を目掛けて襲撃しアット驚く隙も無く其の一匹は胸元に突喊し[illegible]利劍を突き立てたので課長は轉倒する、一座は總立ちとなる、斯くて此の日は重ね〳〵の失敗に一同這ふ〳〵の體で引き上げたが二十五日同課長室に青木課長を訪ねて見舞を述べるとイヤ[illegible]の上に熊公さ來たので今にヅクヅク痛むよ併しれは熊公よりはマシだが――は苦しい洒落なり

驅逐艦村雨の出動

行衛不明の漁船搜索の爲め

二十三日揷播の漁夫闔七十餘名及び全南巨文島附近の鯛漁船四隻五十九名の行衛不明となりたる二つの椿事に鎭海々軍要港部よりは即時驅逐艦村雨を對州島附近に急派して搜索に從事せしめたり(鎭海特電)

讀者文藝(一等には五十錢の書籍券を呈す)

△謎「卵子とかけて」

人の一生と解く心は器量に依りて資格が取れる(切り樣によりて四角がとれる)(一等) 京城西大門 能田貞

▲誘拐された子供と解く心は大抵孵へ(孵化)されずに喰物になる 龍山 紅雀

▲三月節句と解く心は雛が出る 京北 戸方

▲隔離收容所の獨兵と解く心は捕虜(鳥子) 京城 多英子

▲浴客と解く心は溫ると還る(孵る) 京城 山崎

コレラ彙報

▲内地漁夫四名 方魚津よりの漁船浦項に風波避難中内地人漁夫四名、二十六日虎列拉の疑ひあり目下檢便中(釜山特電)

▲一日で六十九名 仁川二百六十四名

仁川に於ける虎疫患者は二十五日午後十二時迄にて二百六十四名に達したるが同日の發生數は六十九名にして内譯左の如し

港内三名、松林里七名、花平里二九、松峴里七名、新花水里十一名、龍里一名、萬石町一名、内里二名、寺町一名、富内面五名、多朱面二名

▲初發患者死亡 二十一日發病して順化院に收容せられたる眞正患者京城櫻井町一丁目小室まさ(三)は其後極力加療中なりしが二十六日午前十時頃遂に死亡したり

●仁川鯛 細菌檢查 [illegible]

●電車で大騷ぎ 二十五日午後京城電氣會社の六十一[illegible]

[illegible]騷をなせり

●劇藥自殺 二十六日午前三時 [illegible]

[illegible]たるものなりと生命に異狀なし

●連絡船上陸客 二十五日午[illegible]

九月二十五日夜入港壹岐丸上陸客 [illegible]田千代、根本十八、吉村ちよ、坂本忠義、柏田富次郞、新居あさ、田中太郞、森山耕之助、秋吉[illegible]

●讀者文藝 課題及び募集規程

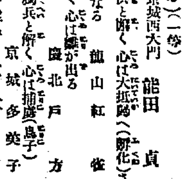
■課題 [illegible]

■募集規程 ▲用紙は端書又は同型の洋紙一枚每に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲贈賞は一週間後▲種類の異る每に用紙を更よ[illegible]

天氣 晴れ ▲九月廿七日[illegible]

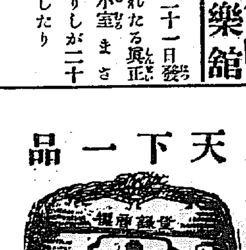
大好評の大寫眞
連日滿員御禮
九紋龍長次と死のダンス
餘興浪花節の吉田奈良雀と奈良子孃とは
いよ〳〵廿八日限
本町一 有樂館

榮養ヲ增進シ 精力ヲ旺盛ニス
グリコナール錠
本品ハ醫學博士佐伯矩先生ガ創製セル榮養劑ニシテ五〇%ノグリコゲーント蛋白脂肪、越幾斯分ノ適量ヲ含有ス
一般虛弱、心臟機能衰弱、胃腸病、結核其他慢性病者等濃厚滋養料ノ充足ヲ要スルモノニ對シ榮養ヲ增進シ精力ヲ增加ス
東京室町 三共株式會社


吉田學明
人事百般鑑定需應す
鑑定料觀相五十錢 當用易斷壹圓
鑑定時間 自午前九時 至午後十時
京城本町三丁目 大日本陰陽學會朝鮮支部

電氣化學工業株式會社製 カーバイト各種
日英水產株式會社製 カーバイト各種
右特に勉強販賣致候間御注文被下度候
紙、製紙原料 内外肥料 製紙用藥品 輸出入雜貨商 カーバイト 澁エキス
大阪市東區高麗橋貳丁目 株式會社 島田商會本店
東京市日本橋區本町貳丁目 同 出張所

牛乳浴を召そと今樣に皮膚を美くしくする日本に初めて出來た
牛乳製品 ニウリ石鹼と ニウリ洗粉
▲各地化粧品店、藥店にて販賣致候
▲市内は電話御通知次第日々配達も仕候
▲說明書は御申込に依り何時にても送呈仕候
製造 東京麴町 朝鮮特約店 京城 阪川牛乳店 東亞牧場

天下一品

◉冷御發賣(拾月壹日より)
弊社發賣清酒各印共優良品賣出し(直段改正)仕候に付不相變御愛顧奉願上候
發賣元 兵庫縣灘御影町 嘉納合名會社 電話三七番

入院隨意
酒井婦人病院
京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)
電話二六〇一〇八番

……の臨時を徴集して警務部衛生課に於て細菌檢査をなしたり

……引渡したが其影の結果……ざりしも偶電車課にて同電車の大消……

……より係員出張檢視せしが同人は近頃の不景氣にて生活に窮し世を悲觀し……

日本學生に學資を出す　▲米國人ハーン氏

◇南大門通三丁目米國人ドクトルハーン君はフイラデルヒヤ大學の出身で之迄朝鮮人學生に多大の學資を與へたり或は寄邊なき日鮮人患者を入院せしめたり種々篤行があつたんですが、此度日本の醫學生に學資を給したいとて工藤ドクトル兄弟に其の人選を賴れました

◇工藤氏は早速故鄕熊本縣伊倉の町長と中學校長に人選を賴みますと遂に竹林貢熊といふ少年が推薦されました

◇ハーン君は竹林少年は一面識なきにも拘らず直ちに其の優秀なる成績を見て學資補給を諾せられましたので少年は芽出たく熊本高等學校醫科に入學しました

◇學資は少年が大學を卒業するまで約七箇年餘陸海軍省の委托學生と同樣ハーン君の手から渡されるさうですが赤の他人の外國人に長い七年の間學資を與ふるなどゝは洵に感ずべきことと思ひます

婦人とコレラ　△時々の御毒見が原因か

▽仁川に流行するコレラを見ても京城へ這入つて來たコレラ患者を見ても先づ第一に婦人を冒すやうである何にもこれ丈けを見てコレラと婦人とは特別の關係があると云ふわけではないが或る御醫者樣の話しに由るとどうしても婦人の力が男子に比して胃腸が羸弱である處から男子よりも多く冒され易い事に成つて居る

▽それに婦人はどうしても勝手元でその食物の世話を爲る、水使ひが多い、その上虎列拉の這入て來る第一關門たる臺所に居るのだから男子よりも多く冒されるのも無理は無いと云つて居る

▽或る口の惡い人の話しに凡ての婦人とは言はぬが婦人の多くはどうも意地が穢なくて時々お毒見が爲たくなつたり檢病的試驗を口腹に於てさるから隨つて危險が多いのだ相だ

あちらのことども（七）　坂出技師洋行土產談

◇金持の女中さん　また私の感じたとは、あちらの人が富で居るにも拘らず皆儉約を守ることでありました◇現に私の泊りました家は、先づ中流の家庭でありましたが、主婦はなかなか質素で儉約に努めて居りました◇そして、外出する時には、寶石の指輪も飾つて居るが、家にあつては自ら炊事に勵むで居りました◇其の上、女中も一人居りましたが、昨今戰爭のお[illegible]れもあるし、[illegible]と申して居りました◇次にまた其の家の女中が、私に向つて『道頭お國の公債相場が騰つて洵に結構です』と申します、私は何うした譯かと訊いて見ますと『貴か私も少々日本の公債を有つて居ります』との返事でありました◇聞けばあちらの女中は、公債なぞのよい慾窓で何れも儉約して買ひ求めるとのことでありました◇殊にまた此の女中は私と同居して居た友達に、或日紐釦製のお皿やコオロー茶碗を貸してくれましたが彼等の克己して、お金を貯めることは感ずべきであります◇次に私があちらの中流以上の娘に就いて感じたのは、あちらの婦人が何れも人中に出て惡びれず、堂々と押出すといふ美點であります◇例へば、交際上お茶とか園遊會などの席にのぞみましても、決して尻込みせず、堂々と滿座の人々に挨拶して、自分の席につくといふ風があります、◇これは惡く申せばお轉婆とも申されますが、日本の婦人のやうに、主人が誰れかに紹介したいと思つても逡巡、躊躇するのとは大分異ふやうに思ひました、日本の婦人方も、今少し場に臆されぬだけの心得があつたいと思ひます。（女子高等普通學校にて）

神社とお寺と教會

◎美以教會朝鮮部會　日本美以教會朝鮮部會は來る二十九日より三日間平壤美以教會に於て開會し猶に開會の協同傳道後に於ける救會方法に付き打合を爲す筈にてスミス朝鮮部長を始め鮮內各地の牧師信徒代員等五十餘名出席の由にて京城よりは二十七日藤岡牧師二十八日スミス氏何れも大會出席のため出發すべしと

◎柴田氏馬山行　多年鵜世流樂寮會師範たりし柴田松坡師は道面馬山へ轉住せり

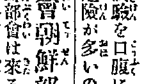
◎曹洞宗別院（若草町）　二十六日午後八時より結制法要と同洞上明識法の講話あり

◎天理教（吉市町）　二十六日午後二時より布教師の研究會を催せり

◎西本願寺（若草町）二十六日午後一時より彼岸の法會あり松原縣長の訴教及び衛生講話あり猶は同八時より梅山氏の說教及衛生講話あり

◎開教院（本町三）　二十六日午後二時より結擇說教及び講話あり

たいどころ　その日々



□菊豆腐　豆腐の布目をはがして一寸四角に切りて七分目位の處まで立横より切り目を入れ鍋にくず湯を仕立て其中に入れ四五回煮立てると菊の花の如く豆腐が開くそれを自杓子にてすくひ揚げて汁をよくすたみ深皿に二つ入れ一方にはさらし葱を眞中にのせ一方には卸し生姜をのせそば餅の少しこき加げんの露をつぎ込みて出す（青木はつ子）

お休日記

△お父樣と元山へ　京城高等女一學年　瑛子

○八月二十一日　美しく晴れわたつた空には雲のかげさへ見えない私たちは元山ゆきの車中の人となる。アカシヤの並木が見える、山が見える、水田の上を秋風のわたる每に綠の波が立つ。わが汽車の行く綠の山綠の野、高原の秋はすつきりと晴れて居る。鐵原に着いた。こゝでおひる[illegible]熱く、隧道を潜ぎる頃から數多のトンネルに送り迎へられて、汽車は海拔二千尺の高原を走る、窓の外には紫色の桔梗や姿やさしい女郎花などが咲きみだれ高原はどこまでも續いてゐる午後四時過ぎ海の元山に初めて下り立つ。宿の夕餐を了りて、たそがれの町を步けば彼方の海のかなたには燈臺の灯が淋しく多滅する。夜は暖いメーンスのお床にゆつくりと足をのばす。

○八月二十二日　青いかやなどほして、朝の日があかるくさす。昨夜にぬれた桔梗やおみなへしなどりつゝ金比羅山の頂に登れば碧い空と碧い海とが遙かに見える。それに紫の山とくつきりと浮ぶ白帆のかげなど自然はなんといふ美しさであらう。靜かな人街を通つて十一時頃はじめて海へ行く。ひた〱と寄せよせ來る磯邊に立つた時、私は此の上もなくうれしかつた。おゝ海！海！なつかしい海よ。おまへを見るとあゝ何だか私は幼なかりし昔にかへる樣な氣がする……[illegible]一つになつて海に這入る。久しぶりでほんとによい氣持。あゝあそこを白いかもめが飛ぶ。ちつとも泳げないので殘につかまつてパチヤ〱しつゝ小さいすきとほつた石や貝など拾ふ。午後から又海へ。今度は少し遠くまで行つて、砂の美しいところで遊ぶ。しほふきを澤山とる。

○八月二十三日　六時頃に起きて、まだねむつたやうな町を金比羅さまにのぼる。今日は四人そろつて山も空も海も朝霧に包まれて、うすぎぬを通して見る樣な朝の海は何ともたとへやうがない。美しい陽は金色の光を投げて、しづ〱と碧藍な島から登つて來る。おゝ何んといふ日藏な景色であらう！午後は武川さんの方と御一緒にランチで對岸の天の橋立の樣なところへゆく。靜かな海をランチが走る程に綠の山かげは次第にはつきりと見えて來て、ふりかへると元山の町は小さく〱おもちやの樣に見える。長い岬をまはつて目ざす海邊近く碇を下す。小さいテンマに二組に分乘して右に左にゆられながらあやうく向ふ岸に着く西洋人が澤山居る。長い脚をつたつて美しいいろ〱な貝を拾ふ。こゝは日本海に面して居るせいか、さすがに波があらい。ざぶん……ざぶんと波がくる。砂をあさつて、あさりな貝一ぱい採る。私たちは明日は此の海にも別れをつげねばならない。

○八月二十四日　しら〱と夜は明けた。今朝はもう元山とも別れねばならぬ。床の花いけに投げ入れてある桔梗の花を、どうにかして持つて歸りたいと一心に考へた末、水にひたしたハンカチでまいて行くことにした。荷物だけ先に車で送る、私たちは愛旋館にも別をつげて町を步きつゝ停車場に赴く。なつかしい磯の香も此の靜かな海の町もすべて私の思ひ出といふ箱に入れられてしまふのだ。後の方を眺めると藍色の水をたゝへた海はいつもの如く美しく、いつもの如くゆつたりとして、ぢつと去り行く私共を見まもつて居る。おう海よ海よ元山の海よ、たつた二日の間だけれど、お前はよく私たちを遊ばせてくれたのね。私たちはもう京城に歸るのだ。お前と別れたくはないけれども……。九時四十分汽車に乘る。汽車はゆるやかに動き出した。さようなら海よ……山よ……町よ……汽車の中では、つれ〲なまゝに紙を細くさいて繼けて窓からさつと風になびかすと、さら〱とかなたの窓に流れ入る。姉上のおせなに、もたれて思はず、とろ〱とする。『南大門』『南大門』ふつと氣がつくともう京城に歸つた。桔梗はやつと命を保つて母上方にほめていたゞいた。ジョンも丈夫に太つて居た。あゝやつぱり家といふものは嬉しいなつかしいものだ。

商況

東京株式特電
十九日前場寄付　大引

[illegible]（各銘柄とも ｜）

公債直取引　（前日との比較）
[illegible]

深川在米特電
二十五日現在高
[illegible]

東京期米特電
二十五日前場　十一月限　後場
[illegible]

大阪株式特電
十日前場　二十日前場
[illegible]

大阪三品特電
二十六日前場
[illegible]

大阪期米特電
二十六日前場
[illegible]　め止

下關期米特電
二十六日前場　雨後晴
[illegible]

雜報

平板益强硬　內地製品

[illegible]

乃至一圓九十五錢

更に一段相場引締むるべし

鐵板更に昂騰　十三枚物

[illegible]

一圓方を引上

生果類入荷尠し

生果類は時節柄出盛期にも拘らず[illegible]荷止めを發し居れる向あり[illegible]

鹽鰐の近況

[illegible]

製粉大輸出　其輸出は非常の巨額

[illegible]

益々粉界は强硬

石油は尙閑散

[illegible]

片栗粉新物待

[illegible]

梅干更に奔騰

[illegible]

尙一割內外

鑄物類漸騰

[illegible]

注文相當に嵩む

殆ど品切に瀕

下關相場

[illegible]

二圓四圓二十二

京城正米

[illegible]

京城雜穀

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

仁川現物市場

仁川玄米二五〇叺　播篩玄二九八叺
沙里院玄一九〇叺　平澤白米六五叺
沙里院玄二五七叺　小井里玄五五叺
鳥致院白二三〇叺　漣川大豆二八叺
平澤大麥一四〇叺　金泉玄二〇三叺

△移入津なし　△正米入津なし
△小麥入津なし

釜山市場　廿五日

[illegible]

生魚市場

本日は僅かに仁川より小數の廻着ありしのみなり[illegible]
タイ二〇、サワラ一四、スズキ七、ハモ八、ニベ七、サヨリ八、コノシロ七、アワビ一二、メバル八

仁川期米

二十六日前場　大阪天候晴

天一節七十七錢安の

入電二節七十九錢

小甘き移り

四錢安に寄付

依然保合

市場零聞

閑散薄商內

新動機待

月末に際し

前場の手振

市場閑散

目先の材料は兎角トンチンカン

變動未だし

正米の近況

米所筋へ弗々買望

十三圓に精

ドーセ一度は內地へ

移出に引合ふ程度の相場は何れ一崩れ免かれ難からん

入津杜絶

早稻の刈入を終り其の地方の需用に困難を感じつゝあり

今後新穀の出廻を見る

[illegible]

仁川米豆取引所

廿六日の十一月限

	前場
寄付	十二圓四十二錢
止め	十二圓四十三錢
高値	十二圓四十二錢
安値	十二圓四十一錢
出來	五千七百五十石

節	半場引値段
一節	十二圓四十二錢
二節	十二圓四十二錢
三節	十二圓四十三錢
四節	十二圓四十二錢
五節	十二圓四十二錢

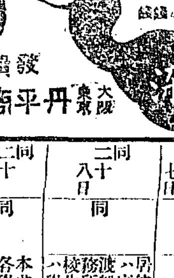
賣買取組高

限月	取組高
九月限	一萬石
十月限	八千百石
十一月限	十四萬四千百石
二十五日後場	前日と比較

[illegible]

小賣白米

	現金賣
一等白米	十六錢
次白	十五錢五厘



◎麥福大　滋養　適用　エイセイジヨゼヒメシマセ
ジヨキニカケテムシタムギ
京城南大門外　池田製麥所　電話七二、振替五四、九七番
電話にて御注文は多少に不拘御屆仕候
はがき御注文は切手代御返し申候

原色原寸　第三版
大日本帝國貨幣古今集　掛軸
◎特製緞子角軸表裝定價四圓五拾錢特價金參圓五拾錢（內地送料共朝滿）
◎上製紙布櫻軸表裝定價參圓五拾錢特價金貳圓五拾錢（臺樺拾六錢增加）
◎帝國貨幣の嚆矢元明天皇の朝に起り幕滿の鑄造は勿論朝鮮琉球より今上今年の鑄造迄凡五百種を羅列金銀銅鉛鐵の古色古度剩は眞に迫り精巧妙絕空前絕後學校銀行會社官衙商工家庭の參考招福品地方收入有利照會二錢
東京淀橋　東光園　振替東京一七二四四
縱六尺　巾三尺

日本中にある音譜の中で
一番　面白いもの
一番　嶄新のもの
一番　金の掛つた
レコードは富士山印東京れこをどです、每月廿五日正確に十枚宛の新音譜を發賣して居るのも日本中獨り弊社あるのみです。目錄無代進呈
東京市日本橋區新右衞門町◎振替東京一九四九番
東京蓄音器株式會社
◉代理店御希望の方は即時申込まれよ、條件簡易

京城府告示第壹六號

龍山憲兵分隊管內ニ於テ秋季種痘ヲ左記日割ノ通リ施行ス依テ生後九拾日以上ノ未種痘者及種痘善感後五年ヲ經過シタル者並ニ初種者ニシテ不善感ナリシ者ハ各其集合區域ノ施行場所ニ就キ種痘及檢痘ヲ受クベシ
但當日雨天ノ時ハ所定最終日ノ次ニ繰下施行ス
大正五年九月十二日
京城府尹　金谷充

記

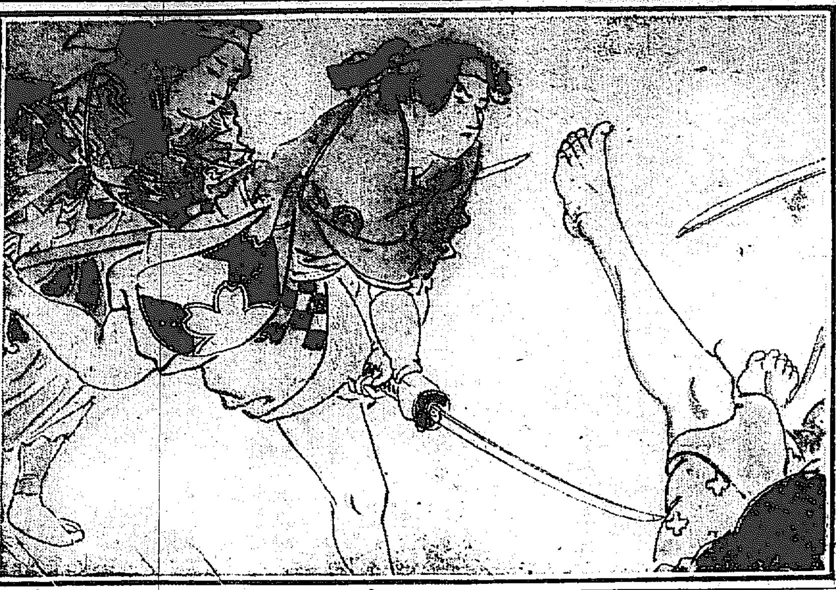
種痘 施行月日	施行時間	場所	集合區域	檢痘 施行月日	施行時間	場所
九月二十一日	午前九時ヨリ午後四時マデ	岡崎町私立門外幼稚園	三坂通、岡崎町、漢江通四番地內ニ居住スル內鮮人	九月二十七日	午前十時ヨリ午後二時迄	岡崎町私立門外幼稚園
同二十二日	同	各學校及幼稚園	龍山公立尋常小學校生徒私立龍山幼稚園々兒	同	午前九時ヨリ正午十二時迄	各學校及幼稚園
同二十四日	同	龍山公立尋常小學校	漢江通自一番地至十六番地但四番地ヲ除ク內ニ居スル內鮮人	九月三十日	午前十時ヨリ午後四時迄	龍山公立尋常小學校
同二十三日	同	私立養英學校	二村洞內ニ居住スル內鮮人	九月三十日	午前九時ヨリ正午十二時迄	私立養英學校
同二十五日	同	元町憲兵派遣所	青葉町一、二、三丁目、元町一丁目、京町內ニ居住スル內鮮人	十月三日	午前九時ヨリ午後四時マデ	元町憲兵派遣所
同二十六日	同	同所	元町二丁目、榮町、大島町、彌生町、錦町內ニ居住スル內鮮人			
同二十七日	同	同所	元町三、四丁目、清水町、岩根町、山手町內ニ居住スル內鮮人			
同二十八日	同	居住民麻浦渡船事務所學校	麻浦洞、桃花洞、內ニ居住スル內鮮人麻浦公立普通學校生徒	十月元日	正午十二時ヨリ午後四時マデ	居住民麻浦渡船事務所學校
同二十九日	同	本町普順各學校ニ於テ	善隣商業學校生徒元町公立尋常高等小學校生徒龍山公立普通學校生徒	十月五日	午前十時ヨリ正午十二時迄	本町普順各學校ニ於テ

宮本武藏

第百七十回

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

一橋如見齋仕方がございませんから　如『それでは長束に勝負をさせる事にいたさう』と承知をした、長束は茫然として何か考へて居る様子　如『サア長束、今の一言を聞かれたであらう、據ないに依つて勝負をさつしやい』傳『ウム』如『唸つて居ては不可ない、サア勝負をさつしやいと申すに』言はれて氣が付いた傳八『傳宜しい、如何にも勝負をいたすでござらう、モウ助勢もいらぬ、拙者一人で片を付けるに依て御心配無用』と其場を進んで傳『アイヤ岡崎の倅如何にも汝の父織部は我手に懸けて討つたに相違ない、武士道の遺恨止むを得ぬ次第、敵呼はり片腹痛い、併し折角父の敵を討たんといふ精神孝行らしい行ひが氣に入つた、依つて傳八郎對手にして遣はす、併し多寡が小倅長束にとつては赤兒の手を捻るよりいと容易し、可惜懸替のない一命を失ふて我を恨むな、サア尋常の勝負をいたすであらう』武『言な傳八、一年前駿州薩陀峠の山中に於て兩人の者を欺討にいたさんと謀りし汝にあらずや、卑怯未練の犬武士とは汝の事、ソレ討取れ兩人』といふ下より、心得たりと岡崎左門一刀振上げて其場へ進む、お雪も小太刀を持つて右手の方から近附いた、長束傳八最早致方もないから自暴になつて寧その事宮本の命を貰つて死出の道連にしやうと考へた卑怯な男で立上り乍ら刀の小柄を取るとヤッと一聲宮本を目懸けて投げ付けた、流星の如く飛來る手裏劍、アッといふ間もなく武藏刀の柄を以つてパチリ其所へ叩き落とし　武『己れ返す〳〵も卑怯な奴、ソレ』といふより左門に於ては眞向から二つになれと切付ける、心得たりと傳八郎一刀拔合せてチャンチャンチャリンと切結んだお雪も小太刀を以つて切つて懸る、右に拂らひ左に拂らひ傳八郎に於ても必死となつて防いで居る左門も年は若いが仲々の技倆、お雪も女ながら小太刀は能く使ふ、けれども傳八郎も一流の指南番、殊に必死を決めて居りますから仲々勝負も見へず、二十五六合切結んで追ひつ追はれつ次第〳〵に仲の町の眞中へ出て來た此時庄司甚右衛門の計らひに依つて大門は閉切つて了ひましたから中に居る者は一人も表へ出る事は出來ない、稻妻組の連中も氣は揉んで居るが何しろ白柄組の面々各々一刀の柄へ手を懸けて八方を取卷いて居りますから手出しの仕樣もない、大勢の浪人組も同様目ばかりパチ〳〵やつて空しく見て居るのみ、其中長束の烈しき太刀先も孝子孝女の一念に次第〳〵に衰ろへ、少しく受太刀になつて來た様子、宮本喜こんで　武『ソレ左門、其機を外すな踏込んで正面から突を入れろ、ソレ左の小手に隙が見へるぞ、雪右の腰を拂らへ』と指揮をする、宮本の言葉の助太刀に氣を得て兩人一生懸命に切込んで行く、長束驚いた、恰ど宮本と勝負をして居るやうなものだ、之れぢやア叶ひつこはないと思つて太きに力を落とした、周圍を見れば大勢味方は居るが白柄組の勢に恐ろいて三百人からの人間が口を開いて見て居る、情ない奴等だ頼もしくない奴と長束も大きに恨んだが仕方がない、戰は氣を以つて勝つ、左門お雪は勢烈しく切込んで來る、長束最早之れまでと思ひましたから一足飛上つてエイツと横に拂つた一刀、お雪の左の腕へ切尖が少し當つた、幵は女の事でアッといふとバッタリ轉んだ、シテやつたりと二度目に切下ろす一刀を搔潜つた左門『己れ』と一喝して横に拂つた一文字、傳八の右の腰へザッグリ切込んだから、アッといふとタヂ〳〵と蹌踉ける、處を踏込んで眞向から切付けたのが傳八郎の眉間に當つて二寸許り切尖が入つたから、流る〻血潮、兩眼に入つて眼が眩らみ、思はず後ろへ搖と仆れる所を、起上つたお雪、飛懸ると右の脇腹へ拳も通れと刀を突立て、左門は上へ飛來つて右の肩より左の乳の下まで血煙諸共割付けた、流石の傳八郎も二言となく絶命した様子、白柄組一同ワッと聲を擧げて賞讃し、暫時の中は鳴も止ます。



岡村介石易斷本部 明治町ヤソ教會隣
岡村介石易斷支部 新龍山郵便局前

石鹸化粧品 婦人小間物 卸商
月本政次郎商店
京城明治町二丁目 電話二二二八番

九月廿八日九星
舊九月二日 戊辰
本命二黒坤危佛滅

▲二黒 缺にも出さぬ偽 事有る日注意 新事見合 東方は吉 艮鎭坤▲三碧 理解せざる際有る日 新事手控事は吉 靜に事を計らるべし▲四緑 小刀細工の事有る日新事手控事は吉 買物に宜 心せらるべし▲五黄 慾心盛し安き日新事手控 常の事は吉保證印等を禁ず▲六白 兩分多き日轉居旅行入門名弘求職上婚禮大なる金融 斗る等萬吉▲七白 相手とき日轉居行商出資 名弘求職造新婚禮入寄樂等萬吉▲八白 取締のなき事有る日新事手控事は吉 新取引は用心せらるべし▲九紫 妙策を得る日轉居開業入院 名弘求職婚禮金件特許出願等萬吉▲一白 眼のきかぬ事有る日新事手控事は吉小兒衛生

演藝案内

櫻井町 大正館 電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
九月廿六日より新寫眞提供
◯滑稽 白髮染◯實寫 エクレール週報◯喜劇 夫の諜報
◯探偵活劇 倫敦暗黑面 全四巻
△英國アンダーソン會社傑作 △六千呎
△立花貞次郎箱根逢坂一派出演劇 岡目八目 新聞連載小説
◯新派大悲劇 誓ひ 全三巻 △夫は義子妻は他家より嫁ぎし身の一家の實權は老夫人の中にあり之れを不幸の利なからんと……
◯赤穗義士 武林唯七 全三巻百二十場

御成町 御成座 電話一九一
九月十七日より開演
▲朝鮮新派劇元祖 革新團林聖九一行

大好評の黄金館
衛生に尤も重きを置く當館は空氣の流通客席其他の消毒等安心して氣持ちよく見られます
◎午後六時半より 大冒險大活劇 第十名金 十八編 十九編
◎午後八時より 佛國政府撮影(非賣品) 歐洲戰線 内實寫 六卷
◎午後十時半より 新派新劇 連鎖劇 新椿姫 全三卷
御家族御連れ立ち是非共當館へ
愈廿七日限り日延した

本町一丁目 有樂館 電話二六六
日本活動寫眞株式會社特約
九月廿二日より特別大寫眞提供
◯實寫 パテー週報◯諷刺 藤原大將の假想
◯冒險活劇『死のダンス』全三巻 X光線發明の博士より盜み取り死のダンスに應用し好評を受けしも遂に博士の知る所となり善悪の大活劇の碓は切り落された巴が讃ぜし死のダンスは實現し孤島の岩頭より墜落したるも是天の網
△尾上松之助一座出演
◯舊劇『九紋龍長次』全三巻 義を見てせざるは勇無き也因果…報ひんため御玉を捕へんと命を賭し奮闘努力したる九紋龍長次其名天地に轟く
◯新派悲劇『神かくし』
▲餘興 十一才の奇童 吉田百々雀
浪花節 おなじみの 吉田奈良子

本日よりの大正館
柳川春葉氏傑作 新派大悲劇 誓ひ
義士劇第六編 舊劇 武林唯七
英國アンダーソン會社 活劇 倫敦暗黑面

黄金館 電話二八五二(階上) 二六三七(階下)
大然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店
九月二十一日より臨時特別大興行
◯實寫 セゴイエーの景
◯世界的大名篇 大冒險大活劇第十名金第十八編(地底の都)第十九編(聖火)終編近づきて益々佳境に入る、人喰人種の捕虜となつたキチーの身は如何に、キチーは聖火の犧牲となりあはや地底の人となるべき運命に接したとき怪人現れ來る其怪人とは?危險は益々刻一刻と迫つてき……キチー!汗る可休す!
◯佛國政府撮影 帝國駐剳佛國大使ルニョー閣下説明
◯四天寳閣台覧『歐洲戰亂線内實寫』全五巻 古今未曾有の大戰亂歐洲戰爭の狀況を永遠に記念すべく企畫せし佛國政府は莫大の費と犧牲を惜しまず……
◯新派連鎖劇『新椿姫』全三巻

▲廣告▼

りん病
消渇に困る方 多年の慢性もの
自宅にて人知れず安全秘密に治療する良藥あり只一劑を試用せよ切手三錢送れば其良藥と自宅療法の詳細を報ず
名古屋市南かじや町 武藤亀吉

衛生必携品
ルーデサック
A十個四十錢 B十個六十錢
廿五錢女用一個 變形一個
引換券代用一割増外に要送料
京城黄金町三 振替京城三二七番 山田文殊堂藥房

●月やく
月やくとまりて又は不順にて人知れず心配し他の藥を用ひて効なくお困りの方は三錢切手封入のうへ申込あれ送知らせ致します
大阪市外天王寺四九八 いづみ屋

▲產婦人科
本院 京城旭町一丁目 電話二三四〇番 診察 午前 午後
分院 龍山漢江通(柳町) 電話一〇六番 診察 午前
中央婦人病院 院主 衣笠茂

横濱 牛乳
純粹 培養 ヨーグルト
場主獸醫肥塚正太
京城蓬萊町四 東亞牧場 (電話二五二番)

千萬言の

說明を聽くよりは、此の一管の實驗を御覧なさい

品質本位

花王石鹸は

斯の如く純良無上の品質なるが故に絶えず帝國陸海軍、帝國大學、赤十字病院等の採用品となり、化粧衛生の第一品として瀰天下に

賞讃を博するのです

石鹸試驗法

石鹸を些し削つて試驗管に入れ之にアルコールを注ぎ好く振り混ぜて火に炙れば純良の石鹸は透明となる。若し混合物があれば沈澱し遊離脂肪があれば酒精が混濁る。又遊離アルカリを含むものは此の液にフエノールフタレイン一滴を溶せば赤色に變ずる。

花王石鹸本舗 長瀨商會 東京馬喰町
花王石鹸大阪代理店 大崎組商會 大阪安土町

御園の月

水白粉のつかひ方

水白粉御園の月は純白と淡紅とあつて晝間は純白を、夜分又はお顔色の好くない時は淡紅をお附け遊ばせ。
水白粉御園の月をお附け遊ばす時は初に肌理を細かに滑かにする化粧水御園四季の花を用るるに限ります。

御料御園白粉本舗
伊東胡蝶園
御料御園白粉發賣元
◎丸見屋商店

(155)

京城日報

第二版

廿七日朝刊(夕刊と合せて八頁)

發行所 京城日報社
印刷人 小川三之介

支那の借款

京城日報

今日支那政府の最も急務とする所は、其財政を整理するにて、眼前に一億圓の借款を取結ぶにあらざれば、其焦眉の急を濟ふ能はざるに際して、其一億圓借款の容易に成るべからざるを見るや、此度我興亞公司と五百萬圓の借款を取結びたり。此借款は諸方面に物議を生じて、今や其解約を迫るものすらこれ有り、此小借款にすら故障を見るが如くば、一億圓の大借款となりては、一層混雜を引起すべきや論を待たざるなり。

支那の事は暫く措き、大凡貧乏國にて公債を募集する際には、其弊害言ふに勝へざるものあり、往昔土耳其埃及等にて、公債を發行するを頻りたるや、官吏と周旋人と相通謀し、好み手數料を貪ることを是れ事とし、債約を取り結ぶも、其條件の國家に不利なるを顧みざるのみならず、債權者の利益如何をも問ふことなし、これが爲めに其財政をして益々紊亂せしむるのみならず、其政治上の紀綱亦廢れて收拾すべからざるに至る、豈其れ且戒めざるべけんや。

此度支那政府と興亞公司との間に成立したる債約は、所謂實業借款にして興亞公司が五百萬圓を貸附くるに對して水口山亞鉛鑛大平府鐵鑛を日支合辦として經營すべきことを約束するものなり、然るに支那國會議員中には、國會の承諾を經ずして締結したる債約なることを非難するものあり、湖南省官民は其借款條件たる水口山亞鉛鑛は、同省の所屬物にして中央政府の任意處理すべき所にあらずと主張す、其他、列國財團よりは此債約亦政治借款なり、政治借款は同財團にて專占すべき事柄なりとて、支那政府に問難を發したりといふ、僅々五百萬圓の公債に就て、此の如き混雜を引起すは甚だ意外千萬なれども、蓋し其債約に何等かの瑕瑾あるが爲なるべし、若し此借款にして失敗に終らば、一億圓の大借款は一層の混雜を免かるべからず。

實を云はゞ、支那の如き國情の下にありては、先づ財政計畫を立て其將來の方針を定めて後に公債を起すが正當の順序なり、今日鹽税收入案外に多くして若干の起債力を有するといふも、支那日常の政費は是非共經常歳入を以て之を支辨するの計畫なかるべからずして、新たに租税を賦課し若くは、各省分擔金を定めて其出納の均衡を保つにあらざれば、其政府の基礎を鞏固にする能はず、特に借款成らざる爲めに、兵員を解散する能はず、無用の兵員を屯集せしむる爲めに各處に騷擾を引起すといふ有樣にては、財政計畫の確立一日を後れば、一日だけ其困難を增加する次第なり、支那政府及び國會にして、其志を此に致さずむば、遂に其患測る可からざるものあるべし。

鐵自給策と製鐵所經營(四)

經濟研究會に於ける 押川製鐵所長官口述

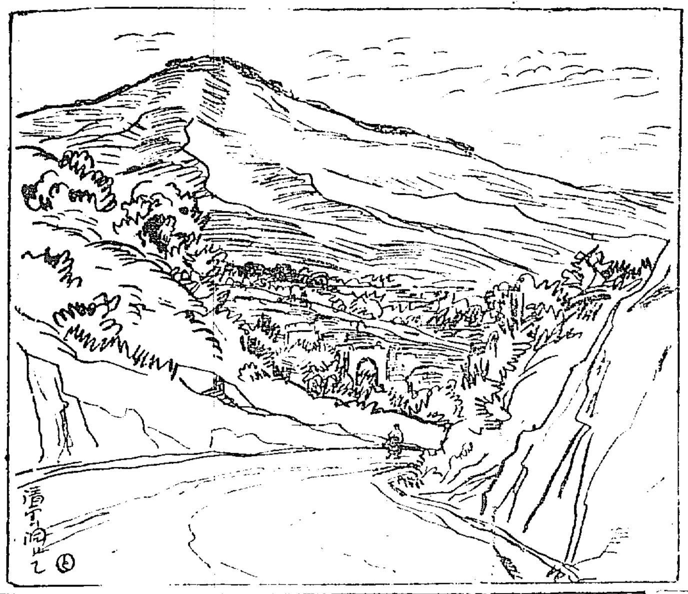
鋼鐵の獨立と原料政策

製鐵所に於ける原料は以上申す如き狀態であるが、其他今日民間に於て製鐵事業を起すにしても、其原料の大部分は支那若くは朝鮮に求むる外はない。故に政府當局者若くは實業家の努力に依て是等產地より容易に原料を日本に取り得ることの手續を講究する事が必要であらうと思ふ。之に對して或は支那から鑛石を取り寄せるのは餘りに距離が遠く不經濟だと云ふ人があるかも知れんが、併し今日歐羅巴や亞米利加の製鐵事業に於て他から鑛石を取り寄せて居る距離に比すれば餘程近い。亞米利加の如きは國內に於てすら四晝夜も要らねば製鐵事業の最も盛なるピッツブルグまで原料が屆かぬ地方もある。英吉利に於ては英本國に於ても鐵は產するけれども、それのみでは足らぬので西班牙からも取つて居る。獨逸も近來は矢張り西班牙から取つて居る狀況である。故に距離の點より言へば支那から取つて居るのはさまで難事では無い。現に製鐵所が原料を取つて居る事に就いては交通其他種々の關係があるが、內地の鑛石より大冶の鑛石を取る方が餘程廉價に當る。今日製鐵所は原料を支那並に朝鮮に仰いで居るが、倚ほ東洋には其他にも多少鐵鑛の存在が無いではない樣であるから、今日は一般の製鐵熱とでも云ふか製鐵に關して一般の人氣が高まつて居るので、方々に手を擴げて講究しつゝあるやうである。只今までの勢では官立の製鐵所丈けでは全體の需要に應ずることは到底出來まいと思ふから、政府に於ても製鐵所に於ても、民間に於ても大に研究をして鋼鐵の獨立を計る必要があると思ふ。

兵器製造と我製鐵所の能力

只今の處では幸ひ製鐵所が十餘年間の經驗を經て凡そ普通に需要する鋼材は先づ製造し得ないものはない。軍艦や商船を造るのに製鐵所の材料で何等不足を感じないが、唯奈何せん今日の如き造船事業の勃興に際しては製鐵所の能力がそれに及ばぬのは甚だ遺憾であるが、技術としては少しも不都合がない。海軍が軍艦を內地で造る場合は、材料は大概製鐵所が供給して居る。唯だ驅逐艦の如きものは從來外國より材料を取つて居たが先達ての戰爭の時に驅逐艦數隻を急に造らねばならぬと云ふので其際は全く外國品を用ゐず、製鐵所の材料のみを以て造つたのである。陸軍に於ても、海軍との協議の末、鋼鐵板と大砲の材料は製鐵所のものを用ゐず、專ら外國品を用ふることになつて居るが、其他小銃の銃身の材料等は總て製鐵所に於て造ることになつて居る。小銃の銃身の材料等は何處に供給を仰ぐも困難であるから數年の經驗を經て外國品と少しも違はぬものを造ることができる。これも今後は總て製鐵所の材料を以て製造されることになるであらう。

一般の需要に對する製鐵所の能力は甚だ不充分であるけれども、第二期の擴張に依て普通の使用に適當するやうな製品物にしては、中型以下のもの及び棒類やそれに類したものは餘計出來る樣になつた。而して第三期の擴張に依て造船材料や橋梁材料の如き大型ものをも造りたいと云ふので、急いで設備して居るが、是非擴張事業の完成に依て今日及び今日以後の需要に對し甚だしき不都合は無いやうに致したい。



秋晴れ 石田富造筆

雜音

別れんとして 楚桂

我が來し日比の搖ぎなかりき我が去る日比の搖ぎ無からめ北漢山よ

我れを惜む一婦とてなし我が惜しむ一婦とてなし京城を去る

我が思ひ獨立門に絡はれり何をしるさん獨立門ぞ

南大門幾そ度をも仰ぎけん南大門よ南大門よ

未だ見ぬ金剛山を名殘らるれ關山を見に汝れを夢見ん

途波路しかすがに我が欲りぞあゐ示劫にこそ曳け尾の彗星

京城に初めて虎列拉出したる櫻井町を我れ忘れじな

今君と相去らんとし一語なし曰はん時復一語無からん(日報歐陽の諸氏へ)

沙多き滿洲の野にうるみたる心はぐくむ君に幸あれ(沙丘君へ)

耳遠き英夫と殊に眼の近き我れと相寄り相語りし夜(英夫へ)

詠む歌は餘り巧みにあらざりしも慕は聊かを我れに秀でし(秀丘へ)

自らを自ら愛づる力より強き力を無しとこそ思へ(トンミーへ)

我が持てる同じ愛ひに眼を病める君よ瞼らむ心の眼(古都子へ)

口許の凜々しきは父に黒髮の長きは母に似て榮ゐん御子(佐與花へ)

觀光外客招致策私見(九)

――經濟調査會の研究問題――

朝鮮ホテル支配人 猪原貞雄

▲金錢の兩替及び信用狀

また外人の兩替や信用狀の取扱ですがこれなども現在の銀行業者等が外國のそれに比して實に取扱ひが幼稚で毎度困ります、これも外人に便利な方法に依り取扱ふようにしたいと思ひます、殊に外人の出入する地方ではアメリカン、エキスプレス、ウエルスファーゴー、トーマスクックなどのノチエッキは出來るだけ好い値段で兩替するやうな方法をとられたいと思ひます、猶旅客の常に乘降する列車內では冬の暖房の如きも適宜にして萬事を氣持よくさせたいと思ひます、外國では列車のツレーンマスターと言へば驛長以上の權力を有つた餘程老練な人があたり總ての事務は皆此の車掌によつて取扱はれて居ますのに日本のは鐵道從事員の養成所の樣に思はれます、猶車掌は數年前の乘客の顏まで記憶して寢臺は一種のホテルとなつて居る位實に愉快な取扱を受けます、此の點になると何うも日本の車掌は鐵道從事員の養生所の感があつて實に客に接するに熟練な人がないやうに思はれますが當局の一考を煩したいと思ひます、要するに日本に來遊する外人客に快感を與へ今後いよ〱多くの觀光客を招致するといふ目的の爲めには國民全體が注意しなければなりませぬ。(をはり)

全部改版ニ講義錄界刷新の先驅ニ新課目增設

新學年開始 早稻田大學講義錄 入學絕好機

總長大隈侯爵 名譽學長高田博士指導 經營茲に卅餘年 至れり盡せる通信教育機關

見よ全力を集注せる革新振りを

政治經濟科講義

模範的國民必讀の寶典にして各種試驗に登第し青雲を擧んとする者の絕好資料たり

學課及講師
政治原論 浮田博士 帝國憲法 副島博士 行政總論及各論 清水博士 地方自治制論 安部教授 市政論 植民政策 永井教授 列國政治及政黨 山本主任 經濟原論 服部教授
應用經濟 平沼教授 貨幣論 河津博士 銀行論 服部教授 財政租稅 田中博士 關稅論 小林學士 會計論 工藤博士 社會政策 桑田博士
交通政策 伊藤教授 近世史 煙山教授 外交史 長瀬ドクトル 社會學 遠藤博士 法學通論 三潴學士 刑法 泉二博士 民法 飯島學士 商法 柳川教授
國際法 中村博士 演說修練法 安部教授 其他講演、演說、研究資料、時報等有益多趣味

十八ケ月修了 第壹號 十一月一日發行

法律科講義

法學に關する斬新なる解說を網羅す故に受驗者の師友にして又一般國民の良顧問

學課及講師
法學通論 三潴學士 帝國憲法 副島博士 行政總論及各論 清水博士 刑法總論及各論 泉二博士 民法總論 仁井田博士 物權法一部 三瀦教授
物權法二部 横田博士 債權總論及各論 横田博士 親族法 牧野教授 相續法 柳川教授 商法總論 飯島學士 會社法及手形法 松本博士
商行爲 須賀學士 保險法 粟津博士 海商法 市村博士 刑事訴訟法 豐島博士 民事訴訟法 岩田學士 同(三編乃至八編) 仁井田博士
破產法 岩田學士 國際法 中村博士 國際私法 山田博士 科外、高等文官、辯護士試驗問題擬答其他材料豐富

十八ケ月修了 第壹號 十月五日發行

文學科講義

教育家、文學家、乘て模範人格養成の理想的唯一獨學機關

學課及講師
東洋倫理 遠藤博士 進化原理批判 藤井博士 教育學 中島教授 教授法 森岡教授 倫理學講說 桑木博士 心理學 金子教授 文學概論 島村講師
歐洲文藝思潮 相馬講師 支那文學史 兒島教授 國語學通論 金澤博士 修辭法 五十嵐教授 應用支那文典 廣池博士 古事記選釋 千秋學士 萬葉集講義 岡田教授
國文學發達史及源氏物語講釋 永井教授 枕草紙選釋 佐々博士 太平記選釋 松井教授 大鏡増鏡選釋 植村講師 和歌評釋 尾上學士 俳句講義 高濱講師
孟子講義 牧野教授 論語講義 林博士 史記講義 熊谷學士 十八史略及唐宋八大家文 松平教授 支那時文 宮島教授 科外雜錄趣味津々

十八ケ月修了 第壹號 十月八日發行

新講義錄の特長
活字全部の改良
內容の嶄新課目の特設
各講義に加へたる訂正增補
講義の平易且つ深切
學費低廉短期
研究法辭解雜錄揭載
質疑應答懇切周到

校外生の受くる特典
本大學無試驗入學
上級編入及入學金免除
大學圖書の無料閱覽
夏期講習會無料聽講
卒業證書修業證書授與
發行圖書の割引購求
成績優秀者を給費生とす

各科とも詳しくは見本附規則を見られ

早稻田中學講義

立身成功の基礎たる活智識を與ふる日本一の講義錄

獎學 メダル贈與 毎號優美なる口繪標本寫眞地圖等多數

二年修了 第壹號 十一月一日發行

學課及講師
修身 坪內博士 國語 永井教授 漢文 丸井學士 作文 五十嵐教授 文法 横地學士 習字 岡田學士 手本 小野教授 英習字 水谷・木村學士 英語文法 二木學士 英作文 武信學士
英譯 增田教授 日本史 三浦博士 東洋史 松井學士 西洋史 本多學士 日本地理 矢津教授 世界地理 山上學士 算術、代數 吉田學士 幾何、三角 田邊學士 植物 草野博士 動物 谷津博士
鑛物 小田學士 生理衛生 米講師 物理 田中學士 化學 池田學士 法制 高田博士 經濟 清水博士 農業 添田博士 商業 横井博士 工業 小林學士 關口教授
手工 原田講師 簿記 吉田學士 圖畫 山口講師 體操 熊谷講師 自修法 土屋講師
右の外諸大家の青年訓話、特別講話毎號附錄の雜誌「新天地」等は有益多趣味を極む

早稻田商業講義

本年春季新學期開始 何時にても入學せしむ

入會金全免 振替東京三三一 電話番町四二三・三七四 早稻田大學出版部 東京牛込早稻田 直に ハガキにて申込次第

大阪期米(廿六日)

▲後場當限寄付十三圓四十八錢△中限寄付十三圓七十錢△先限寄付十三圓八十六錢

▲二十六日後場 ▲兵庫後寄十三圓六十八錢 東止

仁川米豆取引所

▲依然保合 天候晴天大阪の廸り入電なるも[illegible]十三圓四十一錢と寄付たるが在外買物現はれ折柄大阪の暴騰を受けて[illegible]其他より買物多く七錢と跳ね返したるが小口に高く買向ひたり大阪の[illegible]を受けて五錢と突き六錢と後合を告げたり

▲彼岸底乎 [illegible]大阪の何となく軟弱の成行を示し居りたる[illegible]に當り今前場の十三圓七十[illegible]底堅めと思へば思はるべし左しも不安なりし大阪の今後場に至つて急騰十四圓〇七錢と大跳ね返しを演じ[illegible]

廿六日の十一月限 寄付 十三圓四十一錢 止 十三圓四十六錢

出來高 九月限 十月限 十一月限 七千百石 十四萬六千四百五十石

◎遣露宮殿下拜謁 アンドレー大綬章を拜受さる

閑院宮殿下には廿四日大本營に於て露國皇帝陛下に拜謁正式に午餐の饗應を受けさせられ陛下乾杯の御辭に次ぎ殿下の御挨拶あり一旦御退營の後更に晩餐に臨むべく御參營あり首尾好く任務を果させられ午後九時三十分皇太后陛下御訪問の爲めキエフに向ひ御出遊ばされ二十五日キエフ御發二十七日露都御着十月二日頃露都御出發の豫定なり又殿下には二十四日大本營にてアンドレー大綬章を受けさせられ隨員の内内山、吉田、中島、松井、合田の諸氏は勲章を其他は物品を拜受せり(露都電報)

◎蘭領東印度叛亂

アムステルダム來電に依れば和蘭領東印度に起れる叛徒はマエラテボ街に對して一同襲撃を行ひたるも擊退せられたり在留歐洲人は何れも要塞内に在りて安全なり二十二日ジャンビーにては叛徒附近に押し寄せたりとの風說行はれ一般に恐慌を來し居れり和蘭軍隊は直ちにマエラテボ街に入り公會堂及び主要街路を警戒せり街は二十二日夜は平穩にして叛徒の襲擊なかりき(倫敦電報)

◎羅馬尼國境の戰闘

公報に曰く、アリベット河より羅馬尼國境に至る戰線の各所に於て戰闘行はれ敵は頑强に露軍の前進に抵抗しつゝありセント河上流に於ける露軍は敵の逆襲全部を擊退し一千五百名の捕虜を獲たり(露都電報)

◎露軍依然激戰繼續

露軍は羅馬尼のドブルヂア州に於て更に九百十六高地を占領し同方面の獨勃軍と依然猛烈なる戰闘を繼續しつゝあり(紐育電報)

◎聯軍前進塞軍攻勢

聯合軍はマセドニアに於ける全戰線に亙りて前進を爲し塞軍はグナリ南方の勃軍防禦陣地に對し攻勢を執りつゝあり(倫敦電報)

◎伊軍前進

伊太利軍はゴルヂアより前進しトリエスト市に通ずる水道を切斷したり(倫敦電報)

於ける露軍の攻擊は阻止せられたり(紐育電報)

◎攻擊阻止

伯林公報に據ればカルパト山方面に

◎獨外相辭意

アムステルダムよりの報道に據れば獨逸外相フオンヤゴー二氏は遠からず辭職すべしと(紐育電報)

◎ヴ氏サロニカに向ふ

雅典よりの報道に據ればヴエネゼロス氏はサロニカに向ひ出發したり(倫敦電報)

◎我兵の勇敢に感ず 松尾中尉門司歸着談

鄭家屯事件にて名譽の負傷を爲せる松尾中尉は二十六日商船臺南丸にて大連より門司著一泊の上翌二十七日大村聯隊に歸還の筈中尉は當時の狀况を語つて曰く「我が隊は三名の通譯と川瀨巡査を加へ總數二十四名にて中死者十一名負傷者五名を出したり予は胸部に貫通銃創を負ひ口より血を吐きたるより隊にては到底助からずと思ひ其の趣報告したる爲め予は一時死者として傳へられたる次第なり予は今回の戰闘に於て我が兵士の頗る勇敢なるに感じたり云々」(門司特電)

◎各植民地豫算 常例閣議にて審査

去る二十二日早稻田大隈侯私邸に於ける豫算閣議に於て六年度歲入歲出總豫算一般會計の決定を見たるが各植民地豫算及び特別會計の審査は今後豫算閣議と稱するものを特別に開催せず常例閣議に於て通常政務議定後逐次各植民地の分を審査する事に決定したりと(東京特電)

◎公友交涉委員

公友俱樂部合同贊成者は廿五日評議員會を開き投票を以て交涉委員三名を選擧したるに其の結果大隈信常、今西林三郎、高木正年の三氏當選せり(東京特電)

◎獨銀營業停止

橫濱山下町百八十番所在獨亞銀行橫濱支店は廿六日附を以て銀行條例に依り營業を停止せられたり(橫濱特電)

◎北鮮牛移入 試計

北鮮牛移入に關し福井縣當局者の方針を聞くに昨年第一回の移入は經驗に乏しかりし結果成績不良に終りしも今回は昨年の實驗に依り先づ販路に就て大阪、神戶、橫濱等の牛商人と充分交涉を遂げ尙ほ買入に就ても經驗者をして之に當らしめ來る十月第二回の移入を試むる筈なり而して爾後は成るべく移入の回數を增加し往航には朝鮮師團も設置されある事なれば諸材料並に雜貨等を搭載し北鮮との定期航路を開き相互の利便を圖る豫定なり又た活牛の移入を許されたる結果二歲位の犢を移入し農家に耕作用として之を飼育せしめ一面に耕作勢力を助け一面堆肥を取りて五六歲まで育成せしめ販賣するとせば肉用としても相當の價格に賣行き充分利益あるべく將來福井縣をして朝鮮牛の育成地たらしめんと

◎慶北製紙販路

從來製紙事業は慶北特產の一として數へられつゝあり慶州を中心として改良を加へつゝあるも是が販路に少なからざる苦心をなせしが慶北永川邑文明琦氏は數年前より滿洲地方に販路を擴張せんと企て幹文洋行なるものを組織し販賣を試みたる結果紙質良好の爲め好評を博し過般輸送せる中分百三十五梱價一萬三千五百圓の取引を見なほ今後何程にても引受く可しとの事なれが遼陽城内山口公司を代理店となし事業の擴張を圖りつゝあり因みに文明琦氏は大邱附近に一工場を設立せんと目下是が調査しつゝありと

◎地方經濟狀況(一) 仁川商業會議所調査

▲黃海道翠野場

當地は海州の西三里にあり交通の便と地の利とは太然頗る有利の位置なり今市場の設頭 五百年より

▲會津郡

下らず八月中旬より九月上旬に涉りて四十石乃至五六十石を算す生牛の多き時は五百頭少なきも百五十頭位の賣買をなす而して當地穀類は全部帆船を以て仁川に送らる目下の相場は米一石十四圓八十錢小豆同九圓二十錢牛一頭平均三十五六圓にして一箇年の移出高六萬六千圓移入高二萬圓を下らず

▲位置及び地勢

東は海州郡に接し西南は海に面し北は長淵海州の二郡に跨る郡内山多きも灌漑の便に富み良田に乏しからず海岸線の屈曲甚だしく小島入口を擁し天然の良港を形成す鮮時諸船の寄港地として有名なる龍湖島を初め甕津碑石浦の諸浦を控へ舟運の便を以て仁川と交通をなす

▲農況

稻作 移植後數度の降雨ありて分蘖伸長共に甚だ良好にして改良種は目下見事に黃熟期に入り在來種も今乳熟期に入らんとす稻熱病も比較的少なく天水田も甚だ豐熟し現今二割八分の增收疑なきものゝ如し大豆、小豆、共に氣候適順にして生育良好目下發熟中なり病蟲の被害なく昨年より大豆は一割八分小豆一割二分の增收を豫想しつゝあり大麥 播種期以來適順の氣温を持續せしが生育良好二割五分の增收を見たり小麥、麥播種以來恐氣比較的烈しからざりし爲冬期中枯死の難をまぬかれ春期の氣温上昇と共に生育良好なりしも六月の陰濕の天候に遇ひ赤澁病の發生を見たるも激甚ならず發熟期に良好なりしも成熟期中雨天或は曇天なりし爲多少不充實のものありたり然し三割の增收を得たり

▲穀物集散狀態

當郡は各所に船着場を有し帆船を以つて仁川に仕向くるを以て市場は餘り廣大ならず從つて仲買人は總て郡内各面を買ひ集めては最寄りの浦により之れを仁川商人の手に委ぬるものなり今甕津郡より移出する一箇年の總額は二十九萬八千七百圓にして移入總額は六萬四千六百圓に過ぎず就中仁川が其の一位を占め鎭南浦は移出品として碕石其の他の十一萬二千四百圓と移入品の千六百八十萬に止まる

一市場相場 上白米十六圓四十錢 大豆八圓 小麥 十圓三十錢 仁川より高値の奇現象也

◎救恤御下賜金配付 京城

府に於ては本年六月京畿道管内に於ける豪雨被害に對して下賜せられたる救恤金中當府管內割當額を左の五名に對し今明日中分配傳達の手續を了すべしと

家屋全潰	青葉町三ノ五七	孫末弼
同	淸水町二四	坂田太郎
同	漢江通五七	池敏
家屋半潰	青葉町三ノ一七	野田仁三郎
	西大門町二ノ一六	吳昌鎬

◎鐵道營業成績

九月中旬に於ける鐵道局運輸成績左の如し (前年同期に比し△は減)

乘車人員	一五〇、三八八人	△一、九〇三人
小手荷物	三〇九、六九三斤	△一八、八五二斤
貨物	三九、六六一噸	一一、九四〇噸
客車收入	一〇七、七七九圓	一、六四五圓
貨車收入	一〇三、八一九圓	一六、四二六圓
運輸收入	二一一、八九八圓	八、三三六圓
一日一哩平均收入	二二圓〇二	△二四九七九圓(?)

◎小田事務官卒倒

中樞院書記官小田幹治郎氏は廿五日午後中樞院に於て執務中突然卒倒し人事不省に陷りたれば直ちに多くの醫師を招き手當を施したれば間もなく蘇生したるも今尙同院に在りて靜養中なり病名は腦の疾患なりと

◎湖南遊歷(二) 無佛居士の談

▲光州の一日(上)

松亭里驛から三里の道に自動車を驅つて光州に入つたのは十六日の夜である、相川光州社長は態々吾々を停車場まで迎へ車上切りに光州學の概念を與へて吳れた又著光の際は佐藤第一部長外官民有志の出迎へを受けた事を玆に感謝する翌十七日大塊老と宮木長官を官邸に敬訪した、席に道廳庶務部及び地方法院の各位も來訪色々と全南に關する高話を拜聽した折柄一人の鮮人が道て來た『乘人生れて饑饉出で漢陽二疋の豹の仔を籠に入れて賣附けにより珍客を迎へて豹の仔現はるこれ何の兆ぞ』など忽ち一の話題を生じた其後如何なつたやら?

李王職博物館に送つたら如何であうと電報で照會しやうとの事であつた

吾輩は古蹟研究に極めて熱心な鈴木光州署長に東道され、面に冷やかな秋冷を衝きつゝ光州郊外約十町高麗時代山城の下にある古塔を訪ふた塔は關野博士により八百年以上の星霜を經たものと鑑定されし程の物で其價値に就き吾輩の如き素人が兎角の言を挾ますとも立派な古美術品である、一見する所其の塔が如何にもよく原形の儘保存されて居て各地の遺物に見るやうな綠が缺けてるとか塔の笠石が無くなつてるとか、さうした缺點がなく全存してるのは寧ろ此まで無頓著に放つて在つた御蔭であらうとも思はる何にせよ今後は當局者の保存よく行届いて此の完全な物を瓔物にせられない樣に願ふので、ある而して、其塔の笠石の上に鐵の棒が挿つてゐるのを見た、其の鐵の棒は多分塔心の裝飾の殘骸であらうと思はれた、唯一の笠石の中央に聊さか凹みがあるのが永久の保存上一の遺憾である能く其道の人と相談の上修理し永久に古蹟保存の實を全うせられる樣希望に堪へない修理の爲め却つて塔を損ずるやうでは所謂角を矯めて牛を殺すの類だから一言要心を附け加へる

其の歸途長官邸後方の稻田に朝露を押し分け鐵佛を見に往つた是も關野博士は千年以上を經た古物と鑑定された、と云ふ此の鐵佛に祈願すると姙娠の効顯著しと云ふので每月何の日かには隨喜參拜する善男善女から少くないとの事であつた。

◎貨物主任會議

鐵道局にては全線各主要貨物係主任を召集し二十六日より三日間鐵道局樓上に於て會議を開催し一般貨物に付協議すべしと

◎職員定數改正

監獄職員の定員改正の件並に朝鮮人たる看守及び女監取締給與規定は二十六日朝鮮總督府官報に依り府令を以て發布せられ公布の日より施行の事となれり

◎新設學校建築著手

今回京城學校組合會にて可決確定したる訓練院小學校設置の件は兩三日中に道を經て本府へ學校設置認可を申請する筈なれば其指令を俟つて愈々建築に著手するは來月二十日頃となるべく斯くて本年結氷期迄には家根仕舞迄進捗せしむる手順なりと

◎金剛山と電話電信

金剛山中には常設温井里郵便所及び一年中四箇月開所の長安寺分室及び末輝里電信電話所の三通信機關を有せるが本年は鐵道局及び朝郵にて金剛山探勝客に對し諸種の便宜を圖る爲め同山に入る者頗る多く從つて通信機關の利用者少なからざるが當局調査に係る統計左の如し

▲溫井里	電報	發信		
		著信		
	電話	通話		
		呼出		
▲長安寺	電報	發信		
		著信		
	電話	通話		
		呼出		
▲末輝里	電報	發信		
		著信		
	電話	通話		
		呼出		

人事消息

▲竹田寬次郎氏(全州鑛業事務取締役)二十六日夜入京笑福旅館へ
▲蒲田善藏氏(大阪羽田製帽製造所支配人)二十六日夜入京同上

◎南言北語

廣東督軍陸榮廷氏の死去が傳つて居るが何うも事實が疑はれる▲一體陸氏の樣な重要人物に不幸が起らば何うしても電報が來る筈である▲若し陸氏が實際に死去したとすれば漸く折衝しかゝつた廣東の形勢も挫折するに違ひない▲陸氏は桂林に在つた時から微恙があつたが强いて廣東赴任の途に就き十三日頃には病氣重態であると報せられて居たから病氣であつた事は事實である▲陸氏は廣東獨立以來岑氏と龍氏との間に立て斡旋し岑氏は龍氏を討伐せざるべしとの條件で獨立を宣言せしめ▲最近の李烈均氏攻閩の際にも陸氏の調停で大した禍を見る事もなく龍氏を退去せしめた▲廣東事件には陸氏が居なくては到底無事解決を見る事が覺束ない▲陸氏は今日何うしても必要な人間である陸氏の死去が事實とすれば廣東は又復紛糾するに違ひない▲此頃西伯利亞では日本の醫師が大持てで露國醫師や賣藥屋は門前雀羅で大騷ぎ▲其處で忽ち反對運動が始まつて日本醫師は醫師法違反で拘引された▲する と日本醫師信者や婦人連が大擧して警察に迫つて示威運動の結果日本醫師は放免された▲今度は露國醫師等の聯合軍は日本醫師が鐵道附屬地以外に住居すると云ふので軍務知事に運動して遂に兵隊から退去を命せしようとした▲日本醫師同情者側では唖者や跛者や其他あらゆる片輪者等を狩り集めて大團體を組織し遂に兵隊に押し寄せ百鬼夜行の示威運動をやつた▲流石頑強な反對者も遂に屁古垂れたと云ふ▲何處迄も日露民の親善が發露されて嬉しい

◎電車賃訴訟判[illegible]

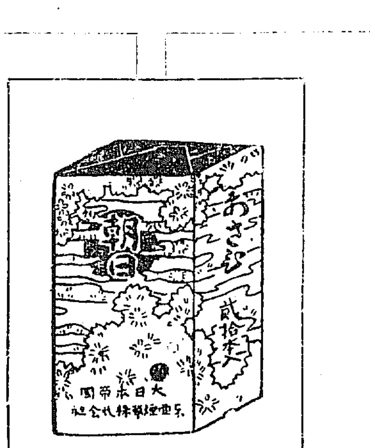
[illegible]

◎八月京城金融

向あるが爲め朝鮮向移出は手廻り兼ねる所あり從つて市價斷然昂騰せる[illegible]喚起し金融は幾分好調を示し稍や小[illegible]起らず一方引締め内地金融界の波動を受け何ほ緩漫域を脫すること能はず[illegible]各増加を示せり更に之を前年同期に對比する時は預金[illegible]百八十六[illegible]からざるを以て鐵道局にては是等一般市民の便を圖り鐵道小荷物の便を[illegible]

京城府本町二丁目九十番地[illegible]邑東面禮樹里金金岩(一三)は八月十一日同里辛云善二男辛德柄(九つ)が眞瓜[illegible]

朝日空袋引換



朝日 空袋 參拾枚
御持參の御方には實物壹包を進呈致します
京城黃金町 官煙組合

朝日 空袋 參拾枚
御持參の御方には實物壹包を進呈致します
仁川官煙組合

朝日 空袋 參拾枚
御持參の御方には實物壹包を進呈致します
太田官煙組合

朝日 空袋 參拾枚
御持參の御方には實物壹包を進呈致します
開城官煙販賣組合 中田市五郎

東亞煙草株式會社

……六日東京區裁判所にて判決言渡あり……長の賠……されたり（東京特電）

……支那印度方面への輸出依然旺盛なる……と一方近來内地一般の需要増加の傾……渡米の決定もあり多少資金の需要を……恨の微あると共に八月に入り仁川受……與地に於ては米穀出廻の備に……等格別目立ちたる資金の新規需要も……乙を前月に比し預金に於て四萬二千……餘圓貸出に於て三十四萬八千餘圓の……

◉小荷物取扱所設置　鐵道……小荷物は從來各驛に於て受付けたるものなるが斯くては一般人の不便……所を設置し來る十……始の筈にして執務時間は午前八時より午後十時迄なりと

◉少年を蹴殺す　慶南泗川郡……平壤府……徳所は九月七日頃死亡したるより……金岩は九月八日泗川憲兵分隊に捕はれたり

●衛生に力めよ、然すれば虎列拉は逃げて行く

此の標語は幸に五十餘箇所に十時間に渉つた本社の防疫巡回講演と配付した廿萬枚の豫防心得書とによつて市民諸君の脳裡に刻まれた

巡回講演（上）南山三角道路に於ける第一班島崎氏講演（下）第二班の歸著

▼歡迎、靜聽 ―第一班午後―

二十六日午前中南部一班の講演を終つて成功を收めた防疫路上講演會の第一班は正午から午後一時まで一息入れた元氣で更に豫定の通り南西部の講演に赴くべく太平通りより先づ南大門前に至る講演は午前の池上醫師に代つて島崎病院長

島崎龍一氏之れに當り南大門横巡査派出所前に於いて第一回の講演を開く、朝來薄曇りの鬱陶しい天候は全く快復して秋晏一碧拭ふたるが如くに晴れ渡つて近來に無い好日和は講演會の成功を祝福する樣である、島崎醫師がフロックコオトに威儀を正したる巨軀を自動車上に現はし流るゝが如き快辯を振つて説き出せば、自動車を圍んで折り重なつた聽衆は拍手を以て之れを迎へ、熱心に謹聽する、折柄人車を驅つて通行中の人達までも態々人車を駐めて聽きに來るもあり

頗ろ盛んであつた　此處より蓬萊町鐵道踏切に沿ふて義州通りに出で更に引返して蓬萊町二丁目交番前に至り南大門驛前より青葉町元町憲兵派出所等で豫防心得書數萬を散布し、新龍山に迄編して山下町の三角道路に到着した時は既に午前中より待ち構へた聽衆は自動車隊を見るより先きを爭ふて密集し來り島崎氏は例の通り自動車上に午下りの秋の日の強烈なる直射を受けつゝ平然として

防疫に關する深き趣旨を語り、虎疫の戒心すべきものにして怖るべからざるものなる所以を説破したのであつた、電車終點鐵道官舍附近では官舍街に自動車を乘り入れて防疫心得書數千枚を撒布し龍山驛横陸橋下を拔けて舊龍山に長驅し本願寺下に至れば此處でも待ち飽ぐむだ聽衆は講演隊の影を遠くに認めるや否や『ソラ來た來た！』とばかり講演指定場所に異黑になつて集まる

▼自動車動かず塵箱の上で演説

之れがためにさらでだに廣くない道路は忽ちに人で埋まつて電車の進行が出來なくなつたので、自動車は盛んに警笛を鳴らして危險を報ずるけれども群衆はいつかな動かないので已を得ず島崎醫師は自動車を降りた中央亭前の塵芥箱の上に突立ち茲に

眞箇の大道演説を始めんとした、熱心な聽衆は忽ち雪崩を打つてその前に集合して喝采する、實にねらい熱心である、此の二事によつて見ても京龍市民が如何に虎列拉の豫防に對して注意を拂つてゐるかと窺がはれて、今回の催しが痛切に機に適した事を思はずには居られなかつた、舊龍山の講演を終つたのは午後五時、時間の都合で麻浦行は中止して、講演隊の一行が

惡疫退治を敢行し凱旋軍の如き意氣で歸社したのは午後五時二十分であつた、終りに龍山の憲兵隊員諸君がよく群集を制して一行の講演に便宜を與へられし事を感謝して措く

▼盛なる聽衆 ―第二班午後―

午後一時三十分再び本社を出發した防疫講話自動車隊第二班は鍾路二丁目パゴダ公園裏手より昌德宮前方を經て東大門外東廟に至り更に引返へし優美館に至るまで十數回の講演を爲し午後四時無事講話を終了して引揚げたるが

此の内最も聽講者の盛なりしは昌德宮前及び東大門内東大門外東廟横優美館前等にして午後の聽衆約六萬、午前の聽衆約八萬に及べり、午前の村醫院長、午後の元醫院長は何れも熱辯を振つて噛んで含めるやうに虎列拉の恐るべき事及び症狀、豫防方法を詳説して餘す所なし今や全市の老若は戰々恟々として何時虎列拉の襲撃に遭ふやも計り難しと恐怖しつゝある矢先き詳密に渡る我豫防講話會を聽くに及んで始めて一方の血路を見出したるが如き心地にて何れも額に手を加へて

悅び合ひ感謝の聲動搖めき渡れり願はくば此の十餘萬の聽衆の口より口に傳へやがて全市の人々をして擧げて我社の豫防講話會に於て説く處を實行するに至らば庶幾くば吾京城市は虎軍の蹂躙を免れ得べきか折りから十數日來の陰霽なる天候全く恢復し清澄なる秋空高く夕陽隊々として我社此の行の意外なる成功を祝福せり尚數隊に分かれたる徒歩隊も朝來市中を巡回し隅々殘る所なく心得書を配付せり

●玉と碎けなかつたのが遺憾だ

松尾中尉暗然として當時を語る

八月十三日午後四時半鄭家屯に於いて日支兵の衝突事件あり我松尾中尉は爲めに名譽の負傷をなせるが爾來療養四十餘日漸く快復して再び大村聯隊に赴の途次二十三日朝著逆二十四日午前十時出帆の臺南丸にて歸國したり其出發前旅館磐城ホテルの一室を見舞ふと中尉は今や出發の準備に福袍のまゝで忙しさう、記者の訪問に手を休めて座に直り

◈**慇懃に挨拶**を述ぶ年に似合はず前頭稍禿かゝつては居るが其骨格逞しき處見るから偉丈夫の觀がある『お蔭で快りましたが傷みはまだ去りませぬ、樽地療養をしやうと思ひますが、聯隊長も旅團長も代つたから一度聯隊に歸還して改めて休暇を取れといふ事ですから一旦聯隊に行つて其から温泉にでも往かうかと存じます彼の當時私は演習に參加して公主嶺に居りましたが經理檢査があるといふので急いで鄭家屯に歸りましたそれが十三日の午前十一時頃で其日の午後四時半頃に

◈**事件が突發**したのです私は軍人として斯る際玉となつて碎けなかつたのを遺憾に堪ません、而し今更ら腹を切る譯にも參りませず人樣の笑草となるばかりですから已むなく耻を忍ぶやうな譯です』と暗涙に咽ぶが如く其の胸奥には部下十一勇士の戰死を羨やみ且つ弔らふ深情が偲ばれた中尉は沈んだ聲で『私等の負傷が輕過好く快つたのは皆鄭家屯在住の

◈**同胞の眞情**に依るので感謝の外はありません負傷者が收容されると四十名許の在留婦人は臨時看護婦となり炊事婦となり徹夜を厭かたず熱心に介抱して呉ましたので私なども一時昏睡して到底持つまいと云はれて瀕死の傷はつたのも無理もない位でしたが氷の用意が充分で冷却が届いたために化膿せずに一週間許りすると快方に向ひました他の兵卒も大部快くなつて近く温泉療養でもさして貰ふでせう

◈**私が滿洲に**來たのは大正二年の十一月二十六日でした鄭家屯に著遲て此家（磐城ホテル）に泊りました滿二年と十箇月山の中に住んでゐたから大連が非常に懐かしく思はれました大連には鎌田（兵務局）秋由（避病院）阿部なんど云ふ同窓のお醫者樣が居るので昨日御馳走するといふてヤマトホテルに連れて行かれたが『俺は活動が見たい』と駄々を捏ねて遂う〳〵一緒に見に往きました』と三年振で活動寫眞を見たと喜んである（大連特電）

◉**虎列拉發生累計表**　九月廿五日午前八時現在

京城	四人
仁川	二百六十四人
富川	四十四人
江華	七人
計（以上京畿道）	三百十九人
釜山	四人
晋州	一人
方魚津	三十六人
三千浦	六人
昌原	六人
泗川	三人
馬山	一人
計（以上慶尚南道）	五十七人
群山	二人
順天	二人
麗水	三人
咸平	一人
計（以上全羅北道）	八人
延安	三人
南川	一人
計（以上黃海道）	四人
忠南瑞山	一人
平南鎭南浦	一人
計	三百九十人
内譯　内地人	五十八人
朝鮮人	三百三十一人
英國人	一人

◉**石油罐爆發して全身に大火傷**

京城玉川洞九番地金斗銘長男石油行商金龍九（二十）は二十五日午後六時半頃橋北洞大澤某方内庭にて石油を賣る際他の罐に石油を注ぎ込まんとしたるも四邊が暗き爲め傍らに點火したる蠟燭を置きたるに其火が石油に燃ね移り石油罐は轟然爆發し龍九は全身に大火傷を負ひたる騷ぎに警官驅け付け同時同人を附近の醫院に擔ぎ込み目下加療中なるが生命危篤なりと

コレラ彙報

▲**吐瀉騷ぎ**　群山榮町蒲鉾製造業井下嘉義方雇人韓用雲（二十）は二十日午後六時頃劇しき腹痛を起し續て嘔吐下痢三四回に及びたれば雇主井下は大に驚き苦悶せる韓を表に突出し韓は苦痛を堪へながら醫師の診察を受けんと隣町明治町附近に到り苦痛に堪へず路上に倒れたるを通行者が發見し群山署に通報したれば恰も當日虎疫患者發生のため署長以下署員は防疫事務凝議中なりしためスワコソと警察醫と共に係官は現場に驅付け應急手當を加へ隔離病舍に收容檢便の結果翌二十一日に至り急性虎列拉患者と判明しヤレ〳〵と胸撫で下す暇もなく廿一日午前十一時頃群山署前を他人の背に負はれ通行中の一鮮人俄かに嘔吐を始めたるを署員が認めて大騷ぎとなり檢診の結果急性腸胃加答兒と知れたるが一時は交通を遮斷し路上の消毒を爲す等大騷ぎを演じたり（群山）

▲**漁夫二名**　群山鮮人船夫張龍洙は二十一日船内にて發病せるを以て直ちに醫師出張檢便の結果二十三日疑似虎列拉と判明せり又二十日虎列拉患者を出したる船中に同居し隔離中の漁夫金泳云（二）は二十四日午後八時發病し目下檢便中なり（群山）

◉**鐵道病院の注射**　龍山鐵道病院にては毎日虎疫豫防注射の希望に應じつゝあるが望みに隨ひ傳染病研究所及び北里研究所兩樣の豫防液を備へ居る由にて價格等は總督府醫院と同樣なりと

▲**仁川府尹曰く**　仁川に於ける火葬場の設備不完全の結果虎列拉病者の死體の處置に就き不安の念を抱き居る者鮮からざる模樣なるも新花町火葬場は改築以來一晝夜に優く五十名の火葬能力を有するを以て現在の死亡者にては死體を放置するが如き事は絶對に無しと久米府尹は語れり（仁川）

▲**停留二百餘隻**　既報の如く牧之島漁船中に疑似虎列拉發生し二十五日眞正と確定せるが二十三日發生當時各船一般の交通遮斷を行ひたる帆船は七十餘隻なりしも取調べの結果漸次増加し二百餘隻、船員六百餘名を停留せしむる事となり鯱丸は二十五日午前早朝より數十回を往復し神仙臺海岸に曳航し同所に於て規定の五日間船内停留を命じたり（釜山）

▲**龍山は無根**　昨今舊龍山に虎疫患者發生し之を陰蔽し居れりなどの噂傳へらるゝより龍山分隊にては嚴重に取調べたるに全く無根の浮説なりしと

▲**南大門驛に**　二十五日夕刻南大門驛構内に嘔吐したる汚物あるを發見したるより時節柄大騷ぎとなり同停車場及び税關出張所の二箇所は即時大消毒をなせり

▲**仁川二百七十九名**　仁川に於ける虎列拉患者數は二十六日午後四時迄に二百七十九名に達せり

◉**訂正**◉　廿六日夕刊第二面寫眞説明中（二）は朴弘仁堂醫院長講演の光景（四）は池上醫院長講演の誤につき訂正す

公告

第壹號金浦郡々内面所在紅島草坪面積約五拾貳萬壹千參百壹坪右草坪内ニ於ケル本年分生草ヲ更ニ競爭入札ヲ以テ公賣ス望ノモノハ九月貳拾六日以降ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルヘシ

大正五年九月拾九日　金浦郡

新刊圖書御案内

書名	著者	定價
經濟原論上卷	山崎覺次郎	七五
債權法講義案總論	鳩山秀夫	六〇
實用日露會話	鈴木於菟平	一、〇〇
對譯英文法獨乙文法	權田保之助	一、八〇
日本債權法總論	鳩山秀夫	七〇
物權法提要第一冊	三潴信三	一、三〇
日本行政法第四卷	美濃部達吉	一、三〇
哲學五流辨及其他	桑木嚴翼	一、五〇
ソオドの社會學	藤森達三	一、五〇
日記及消息	高山樗牛	九〇
人生向上悟りの道	渡邊約山	九〇
新譯西洋品性論	栗原古城	一、〇〇
人生之快樂	大内青巒	一、二〇
萬有之神秘	栗原古城	一、二〇
家庭看病法	大關和子	八〇
中等英作文自修捷徑	元木貞雄	一、〇〇
日用名家の手紙	桑田春風	九五
模範小賣店の組織	佐々木十九	八〇
論語と算盤	澁澤榮一	一、〇〇

[illegible]堂書店　京城本町二丁目　電話一一六六番　振替京城二四五四番

五過泉　背龍　新義州汽車より分冊で

朝鮮諸官廳 受驗講義錄

短語○會話○作文○漢文○歷史○地理○算術○法學通論○行政法講義○現行朝鮮諸法規○各官衙學校試驗案内等朝鮮諸官廳受驗參考科目一切網羅シテ剰ス無シ七冊ニテ完結全部完成壹圓九拾錢送料二十錢全部ニアラザレバ[illegible]メニ[illegible]ル來ル十月八日ヨリ總督府及各道廳ニ於テ擧行セラルヽ日鮮人文官雇員試驗ノ唯一ノ指針ナリ

朝鮮京城旭町二丁目（朝鮮雜誌社内）　朝鮮斯文學會　電話一二五〇番　振替京城二一九二番

◎新學期開始　短期速成　建築科講義錄

▲僅一年にて建築の實際を極む講師は斯界の大家▼　見本付規則書申込次第送呈▲此際進んで入會者には種々特典有

◎會員大募集　▲會費は低廉比なし講義は平易明瞭にて實用的也▼

東京麴町區飯田町三　帝國工業教育會

虎列拉病豫防注射無料施行

本社被保險者に對し來九月二十八日より當分の内毎日午前十時より午後三時迄豫防注射の御希望の方は保險證券御携帶御來店ありたし

京城黃金町二丁目　有隣生命保險株式會社朝鮮支部

法學博士 男爵 横田國臣氏題辭　法學博士 板倉松太郎氏序文　設樂勇雄氏 向軍治氏共譯

ハンス・グロース氏原著　採證學　定價金二圓　送料 内地金八錢 朝鮮臺灣樺太支那金廿錢

東京市日本橋區本銀町四丁目九番地　振替口座東京七六七番　法律新聞社

家庭雜誌　十月號　家庭副業號　定價二十一錢 郵税二錢

◎家庭副業の實驗（懸賞募集記事三十頁に亙りて滿載す）
▲夫の稼ぎに頼り過ぎる女……男爵夫人 日置
▲家庭の副業に向を選ぶか……内藤法學士
▲副業から獲る趣味と利益……藤木花子
▲眼に見えない經濟を知れ……神戸博士夫人
◎家庭と副業の利益……鳩山春子
▲副業に京人形を賣る文學士の奥さん
▲遊ぶのを仕事と思ふな……山脇彦樹
▲副業に假屋を始めた美術家の奥さん
◎女は外で働くより内で稼げ……添田鐵道院

◎夕潮（作者苦心の長篇家庭小説、本號より連載）長田幹彦
◎廢物利用の實驗　内山多惠子
▲黃金の大黑樣……（童話）
▲婦人職業手引草……（小學校の女教師）
◎衛生　花嫁時代（連載）醫學士 高橋
◎小説　お秋の方（連載）平井晩村
▲浮田騷動　▲茶道大家の話　▲秋の花盛と手入れ　▲羽織の襟の附け方
◎社會百生活（各階級收支研究）

東京本町　博文館　振替二〇四番

▲地方出張所長及有給外務員招聘候に付御希望の方は至急御申込あれ

京城鐘路通一丁目二十二番地　日本國債債券株式會社朝鮮總支部　電話一七三七番

日韓書房　新版報告
永田岳淵著　實業立身傳　定價五十錢 送料八錢
日露協約記念　露國研究　定價一圓 送料十二錢
山路愛山著　德川家康　定價一圓二十錢 送料十八錢
長田幹彦著　紅夢集　定價九十五錢 送料十錢
小栗風葉著　青春　定價一圓五十錢 送料十二錢
京城南大門通二丁目　電話一四五番　振替口座一一五番

女鳩

渡邊默禪

「二一六」かあいさう

鳩子は涙含んだ目で男の顔を横から覗きながら

『ね、そんな譯なんです。家にとつては實に重大な出來事で、私しの分別に餘つたもんですから、只々途方にくれて仕舞ひましたのよ。こんなことを今まで知らずに居るなんて、私しも隨分ぼんやりですわね。什麽したら宜しいでせう。大野さん』と悲しげに訴へた。勇は默つて徐ろかに手紙を卷き收めて、

『その寫眞はお持ちですか』。

『ね、此處に有ります』。

『拜見しませう』。

まだ封も切らずにあつた四角の封筒から、マルラーの寫眞を振出して火影に翳した。

『む、なるほどゲルマン種族らしい型をしてる奴だ。これが秀子さんのファザーだと思つて見ると、いかにもよく肖てゐる。ちよつと御覽なさい。この鼻ツつきなんか秀子さんに彷彿ですから』。

寫眞を出された時に、鳩子はひよいと横を向いて

『いゝえ、私し見ますまい。見ると餘計に煩悶が募りますから』。

『爾うですか』寫眞を筒に收めて手紙と一緒に返した後で『僕の推測はだんだん適中して來るから面白いですね。これで全然聯絡がつきました。ふむ、爾うか』ひとりで會心の笑を洩らして『併し外人の私生兒であつたといふのは意外ですなア。僕は其處まではまだ氣がつきませんでしたよ。驚きましたね』。

『ですから一層悲しくなるんです。これが日本の人々でもあつてくれゝばまだ宜しいんですがね。系統も知れない外人の子供だなんて、まア何といふ因果なことでせう。秀さまの身になつたら眞實に情ないことだらうと思ひますわ』。

『當人は兎にあれ、大河野家にとつてはゑらい迷惑です』。

『父も又た如何して、そんなことがお分りにならなかつたんでせうかね。大抵素振でも知れさうなものですのに。爾ういふ場合はどなたでも盲目になるものでせうか。私し父が怨めしくつてなりませんわ。何故こんな淺猿しい問題の種を、廿年の後までもお貽しくだすつたんでせうかと思ひますとね』と備なげに言つた。

『いや既往に溯つて彼是言つたところで仕方がありませんから、差向き如何しようかといふことを緊急問題として研究するですなア。貴女はこれについて如何お考へですか。殺へといつたつて秀子さんを如何するかといふ突込んだ考へではありませんよ。只この仕江さんから受取つた報告をどう取扱ふかといふだけの考へです。その考へが根本になつて外の問題も決するんですからね』。

『夫が私しには、まだ纏まつた考へにはなつて居りませんの。どうして可いんだか只迷ふだけなんです』。

『爾うですか。おや僕の意見を述べませう。貴女は此の場合、一切のことをお父樣に被仰るより外に良策がありませんなア』。

『父に?だつてそれを話したら大變なことになるでせう』。

『なります。無論大變な騷ぎになります。』知切つたことだと言はぬばかりに微笑した。

『それが私し小恐ろしいんです』。

『何が恐ろしいですか』。

『爾うなつたら第一に犧牲者となるのがお姉様でせう。秀さまでせう』。

『爾うですとも』。

『お可哀想ですわ。秀さまを犧牲にするのは』。

『……』。

勇は憫れて凝乎と鳩子を見た。

外科 内科 京城旭町一丁目四番地(旭町上る左へ入) 花柳病 皮膚科 耳鼻咽喉科 診察夜九時迄 院長醫學士 島崎龍一 島崎病院 電話二七三六番 手術室新設、隔離室、普通病室設備 入院隨意

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科 院長 安部修三 京城永樂町二丁目金光教會隣 安部醫院 電話西一九番

皮膚科 入院隨意(診察夜九時迄) 皮膚病 黴毒病 痳病 膀胱病 生殖器 機能障碍 日曜祭日午後二時迄 京城明治町二丁目(元町) 佐藤醫院 (電話一一七三番)

◎北漢山に俳旅行を逐ぐ(上)

木耳

呉阿宮に草鞋ばく二人の裝輕し、水筒と辨當との紐、背中に綾取らる

桐花葉見て武陸館の前を行く、人々異裝の我等を見かへる

八時京城日報社の前を行く、二人なり

大厦成り秋晴るゝ空となりたれ

光化門へ貧道の大路風冷かにして、歩み心地よし(景福宮)

秋晴るゝ破風の丹碧鮮かな目影 コバルト色の空に浮き出でたり

蹴鞠先生の別墅、深き秋の木々につゝまれてあり

秋の花々主居らぬ庭園みたり

彰義門に立ちて、輕き汗を手たず、顧ぐる。秋風は都に通ふらん

街の背後で秋山に入る一歩なり

水瀧き面に臨んで亭あり、額なければ名を知らず、歸に瓦碧あり鐵羅と號す

鳳すめり亦すめり石白き川そこ

巨岩面んで秋風のさわる小草あり

谷川を縫ひて北す

踏の花に谿川の音のさわりたれ

咲き崩まれる蕊に蜂ふかき朝

松小かれ禿山の底な登る

瓦岩二ツ谿にかゝり葛紅葉流れり

岩の黒み野菊が白う光れる日かげりさ

濁くに馬の背にのぼる、時に十一時、閑雁なほゝぼる、味殊の外なり

空の青さ山の黑さあたり紅葉せり

城壁の門をくゞる、汗なびかす間、秋蝶に錦銀な擇り、寫生なほはじむ

城門崩れて花野を別けて行く、北漢山城址

秋の日傾きて礎石に苔ばる城址

蟲の聲止めず

蟲の碑ほてほてさ礎石のおびえより

新刊紹介

▲面白倶樂部創刊號 笹川臨風氏の『武勇傳宮本武藏』塚原渋柿園氏の『預城笑談』田村西男氏の『浮世』渡邊霞亭氏の『大橋小說岡舟』伊藤晴雨氏の『講談快談』市村俗佛氏の『寄人前田慶次郎』大河内翠山氏の『侠客南洲の小說』須藤南翠氏の『探偵實話悲殺し』露原蘭葉氏の『愛小說哉心の微笑』平井晩村氏の『風流物語宿の石』前田曙山氏の『秋の七草』井文左衛門氏の『落語鮮隊小僧』大川南氏の『俠客夢の浮橋』及び屋山三一竹の島人氏の浪花節『御所淺山ポンチ』逸話傳說一口笑話等の外文學博士黑田の講話あり綺名揃の大懸賞を募集す(十錢東京本郷駒込坂下町四八講談社)

▲實業之世界(九月號) 尖要記事には『戰後の商戰に就いて』『立實業家』三宅雄二郎『世界的大發明無限軌道の改良』井上辰九郎『滿病の靈藥ニンニクの話』田邊朔郎(風來生)等あり(十三錢東京市麹町區有樂町一の四實業之世界社)

▲今様(九月號) 定價不詳東京市神田區錦治町三四松屋呉服店

僕は每年十月から四月迄江原咸鏡の猛獸狩をやるが今年も待ちかまへて居る京城にも隨分狩獵家が居るそうだが小鳥や雉などを獲てうれしがつて居るよりも僕の尻にくツついて來ないかな獵銃の眞味は猪熊虎にありだ雉鴨等はまあ兒戲だね併し虎猪を見て腰を拔す樣じや御免だよ序に僕は鐵山探檢をやつて居るよ(世界家生)▲僕は貴社の衞生組合には大賛成です朝鮮人市街には最ふ出來た相なが內地人町に出來ぬはチト面白くない氣がする何か斯う云ふ事があると能く朝鮮人側に先んせらるゝのは恥かしくはないかね(町總代)▲來月の秋祭りは大分賑はしくやる相なが景氣直しに虎列拉を追ひ出す位やつて貰ひたい市民も其の考へでしつかり今から考へて置きなさい(行列男)▲何が何と云つても金だ市中の金滿家の慈善者は慾を云はずに防疫費中へドシドシ寄附金をなさい高利貸など斯云ふ時に慈善をやるべし罪亡ぼしになるよ(汚物掃除人)▲松茸がポツポツ出だした京城の近傍に澤山ある處はありませぬか(小學生)▲防疫會議は官民共に開會するのが可らう其うすれば自然市民側も奮發する事になるだらう(京城府民)▲豫防注射もよいが注射したと云つて不衞生では何の効もないから安心しては不可ぬ僕の隣の注射して貰つた人は最ふ大丈夫だつて不攝生をやるから恐ろしくてやり切れない(南山町の住人)▲虎疫が流行して魚類が賣れなくなつて鷄卵や肉が賣れ出したので急に高價にしたのは不都合だ(市民)

花柳病專門藥房 ●りん病藥壹週分貳圓 ●小包料拾貳錢 ●ばい毒藥壹週分壹圓廿錢 特製武圓廿錢引換 近來東京其他各地に似ドラッグあり藥品に有田製鑑なき物は凡て似物に付御買取の際御注意を乞ふ ●詳細は本月四日の本紙を御覽 京城南大門外停車場通 ドラッグ商會 蒲町本部 電話三五六七番 振替京城四六七番

メリヤス ハ 毛布 京城 呉服店 丸一綿布部 電話三六五

イケダ小兒病內科醫院 池田季雄 京城三越呉服店前へ入る旭町四丁目 電話(醫院一三四番 自宅八八〇番)

釜山著名商店 洋酒罐詰 食料品 砂糖 石油 煙草 雜貨 卸問屋 釜山辨天町 ビ(長)ワコ屋 長距離電話七〇五番 京城一六〇五番 (月刊物價表發行)

月刊商報發行送呈 釜山本町三 近藤商店 電話三五八 八六七 日鮮雜貨 鍋釜 金物 卸問屋

食料品雜貨 乾物 砂糖 麥粉 煙草 罐詰 板硝子輸出入商 ●御入用向に安く入御申上候 釜山本町 (M) 村上元治郎

高等雜貨 洋酒 食料品 サクラビールとダイヤ燒酎特約店 貝形ミルクとクリームキヤラメル 信濃電氣製カーバイト 福榮商會 釜山辨天町一丁目 電話一二三番、三二九番

內外雜貨卸問屋 近江屋支店 釜山本町二丁目 電話八〇二番 ◎青竹入船 釜山港 島末材木店 確實

京日案內

普通 三十錢 一回前金 一回限り 番外 六十錢 一回前金 一回限り ▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通

▼古本誠實買受け絕大の信用ある 本町二 電二五二七 ウツボヤ書店 165

◎貸家 日本建温突付三室五圓半 三坂通官吏向の外居地 管理者舊龍山印刷局先 畑中 296

◎店員入用 年齢十八歲以上 御得意廻り 本人來談保證人を要す 新龍山電車終點前 龜屋雜貨店 297

◎年廿一歲高女出身身元確實の者 會社商店の女子事務員に雇はれ度 (姓名在社) 298

右退社致させ本社と何等關係無之此段謹告致候 大喜多天涯 朝鮮雜誌社 299

◎出張員採用 ▲業務商品收入 多身元確實者至急來談 京城本町五丁目四番地(伊藤質店北) 三好方 300

◎派出多忙に付き至急 看護婦募集 明治町二丁目 惠愛看護婦會 295

◎產婆 大和町一丁目四十五 小林カツ 電話一一五五番

◎英國製拾二番二連銃附屬品一切 右安價にて讓る 御希望の方は電話一千〇十六番へ 288

◎松汀里光州間自働車は太田木浦間凡ての列車に聯絡す ▲光州 川藤自働車運輸部

◎古本買受 交換 預り 御報參上 京城明治町筋 野村書店 電二六三六 281

◎十歲より十五歲迄の弟子三名及十七八位の弟子至急入用 京城南山町 下田洋服店 269

古本高價買入 京城本町三丁目 東京堂書店 163

番外

▲各種鑛物分拆 京城太平通二ノ二三〇 朝陽分拆所 電話二八二三番 260

▲外務監督補招聘 但官吏又は曾て外務監督の辭令ありし者 俸給(五十圓迄)旅費支給 面談堅く午前中 京城明治町二ノ一〇五(郵便局側) 東洋生命相互會社朝鮮監督所 289

▲インデアン七馬力半 自働自轉車讓渡度し 御希望の方は京城永樂町一丁目商品陳列館前半丁程上る 西中塗物所 293

外務員招聘 社交的手腕ある紳士を招す 給料其他面談 履歴書持參すべし 京城長谷川町九十一番地 電話二五三四番 帝國公債信託株式會社支部 292

◎京城春川間 自働車 賃金片道四圓 京城春川間每日午前八時出發 南大門通一丁目 電話二一九番 廣橋自働車組 主務 金正淵 195

立替資金 恩給年金受領の方へ 並に公債債券賣買 仁川山手町穴門通 仁川新報社內 會田 264

魔法瓶中瓶取替 銅線 柳製專賣 籐 其他色々 京城本町一丁目 高木旅行用具店 260

恩給 年金 長期即時立替 ▲對人極秘 低利確實融通 ▲商品陳列館表門前 京城永樂町壹 江州屋本店 221

▲最早 ストーブの時期が見へました 早くメツキ修繕に御送りください 京城明治町 電話二七一一 江草電鍍工場 242

礦物定量分拆 京城府太平通(朝鮮公論社左小路) 電話一三四四番 坂元分拆所 252

京城春川間 乘合自働車 賃金片道四圓 ◎京城發前九時 ◎春川發前七時半 京城水標橋通り 電話武莞參八番 京春自働車商會 支配人 松田壽男 202

藥學講習生募集 夜間教授 九月三十日迄に申込まるべし 規則書は市內各藥店に配附せり 事務所 黃金町三 梅崎政雄方 藥學講習所 209

恩給 年金 即時立替 壹分 何年分でも御相談 月利 京城若草町百六番地 若草町停留場南入一丁ポスト前西入突當り 西村商會 150

恩給 年金 退職料 即時立替 短期無保險 利壹步武厘五毛 京城武橋町二三番地 京城日報社北方一丁 國江商會 200

新式病人用輸送車 新著仕候 御用命を乞ふ 京城總督府醫院前 電話一五八〇番 總督府醫院御用 山口組 96

恩給 年金 長期 即時現金立替 短期無保險 月利一步二厘五毛 京城南大門外(御成町) 山口屋 168

質 大勉強 確實 誠意 永樂町一丁目商品陳列館前チヨツコン下る 秦(ハタ) 170

勸業債券高價買入 並に月賦販賣 京城太平通二丁目(電話一八二三) 業商銀行債券部 253

新刊書御案內

書名	著者	定價
◎ワオードの社會學	遠藤隆吉譯	一、五〇
◎天龍翁金原明善	水野定治	一、三〇
◎國定讀本文語法と口語法	大野佐吉 井上宗助	一、五〇
◎獨乙文法辭典 附詳解乙文典	片山正雄	特二、五〇
◎日本美術史講話	黑田鵬心	特一、八〇
◎詳解佛蘭西文典	折竹錫	一、五〇
◎一喝禪	中原鄧州	九〇
◎改訂想痕	三宅雪嶺	一、六〇
◎自由思想史	大住嘯風	一、二〇
◎修養活用處世禪	丸山小洋	六〇
◎哲學五流派及其他	[illegible]	一、三〇
◎家庭看病法	大關和子	八〇
◎新題川柳名句集	佐藤紫絃	八〇
◎人生向上悟りの道	渡邊霞山	九〇
◎後の巖窟王	高安月郊	八〇
◎世間學	淡六	九五
◎刺青 外十編	谷崎潤一郎	九五
◎人生之快樂	大內青巒	一、二〇
◎愛の聲	三島章道	一、〇〇
◎最新朝鮮地質鑛產地圖	朝鮮鑛業界	八〇
◎添田啞蟬坊新流行歌集	添田啞蟬坊	三〇
◎朝鮮人の衣食住	村上唯吉	二五

大阪屋號書店 京城本町 電六八四 二〇八六 振替京城二五七三

質 京城黃金町二丁目 永樂町(停留所北入) 堀佐營業所 (電話六三九番)

阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行 (關東都督府命令船) 第一共同丸 九月二十九日後四時入 十月一日正午出帆

朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡輸送仕候 大連にては青島行定期船接續荷客共直航船と同樣運賃にて通し輸送御取扱可仕候

○城津、淸津、浦鹽行(元山出帆) 第一阪鶴丸 月 日後九時出

○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸 元山出帆 月 日前八時出

阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目(電話一〇八番) 仁川代理店 山下回漕部 / 元山代理店 春日町(電話二四七番) 田口回漕部 / 京城取次店 南大門(電話二六八〇一七) 河村運送店

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽、牛莊行 相模丸 十月九日 正午出帆 / 高砂丸 十月十九日 正午出帆 / 三河丸 九月廿八日 正午出帆

仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆

○君か代丸 十月三日後四時 大阪直行

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行 大有丸 十月四日後四時出帆 / 神代丸 九月 日後四時出帆 / 秀吉丸 九月三十日後四時出帆

仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九五、二三一番 鐵道會社及社外船と荷客連絡輸送の便あり詳細は支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會願候 京城南大門驛前 京城荷客取次店 松原運送店(電話長一七〇番)

○全羅丸 十月九日 / ○京畿丸 九月廿九日 / ○黃海丸 十月三日 / ○咸鏡丸 十月十三日 (門司より釜山各港經由雄基間航路) 釜山發

○穩城丸 十月一日 / ○昌平丸 九月廿八日 / ○鏡城丸 十月四日 (元山より各港經由雄基行) 元山發

○忠淸丸 十月二日 / ○平壤丸 九月廿七日 (城津淸津雄基行復航釜山より門司又は長崎行) 元山發

○永興丸 (北久味、五里浦行) 每月廿八回 元山發

○盛德丸 (甘浦、九龍里、浦項各港寄港鬱陵島行) 十月 日 釜山發

○江陵丸 ○慶陽丸 (長生浦方魚津寄港) 每日 釜山發 浦項發

○三浦丸 (長承浦、麗水、巨文島、濟州島各寄港) 十月六日 釜山發

○統營丸 ○海州丸 (各港經由麗水行) ○巨濟丸 ○慶尚丸 (三日目一回木浦行) 每日 釜山發

○順天丸 (各港經由麗水行) 三日目每ニ 木浦發 (麗水より釜山行に接續)

○慶興丸 (各港經由濟州島行西廻) 十月四日 木浦發

○慶興丸 (南多島海列島行 月三回) 十月一二日 木浦發

○公州丸 (各港經由濟州島行東廻) 九月 日 木浦發

○宗信丸 (海州他各港經由、麗水又は白翎島行) 十月三日 仁川發

○江原丸 九月廿五日 仁川發

○晉州丸 ○麗水丸 (各港經由木浦行) 九月廿七日 十月二日 仁川發

○全南丸 ○慶陽丸 (江華島、喬桐島、海州行) 每日午前 仁川

大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、馬關、神戸、大阪行 須磨丸 十月四日 後五時出

×安東丸 十月一日 / ×天智丸 十月七日

○木浦、釜山、嚴原、郷の浦、長崎行 ×信濃川丸 十月二十日 / ×信濃川丸 十月四日 後二時出

○群山、釜山、橫濱行 △福州丸 十月九日 / △潮州丸 十月二日 後二時出

○南浦、關門、神戸、大阪行 ○潮州丸 九月廿八日 後二時出

○鎮南浦、大連行 ×信濃川丸 九月廿九日 / ×信濃川丸 十月十五日 後二時出

○大連直行 △福州丸 十月三日 / △潮州丸 十月十五日 正午出帆

○鎮南浦行 ×天智丸 九月 日 正午出帆

○淸津、浦潮行(元山出帆) △印城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港 ○安平丸 十月六日 / △宮島丸 十月十二日 後二時出

○上海、基隆、打狗行(大連出帆) 基隆丸 十月廿六日 後四時出 / 湖北丸 十月十一日 前六時出

御注意 ●朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道と連絡切符發賣仕候 ●御乘船客は本船出帆一時間前に御乘船被下度 △印は船客運賃割引致候 ×印は一等船客御斷り

切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二〇五五番 京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七〇八番

●中國四國沿岸各港行切符に對し一割引を以て連絡切符發賣仕候